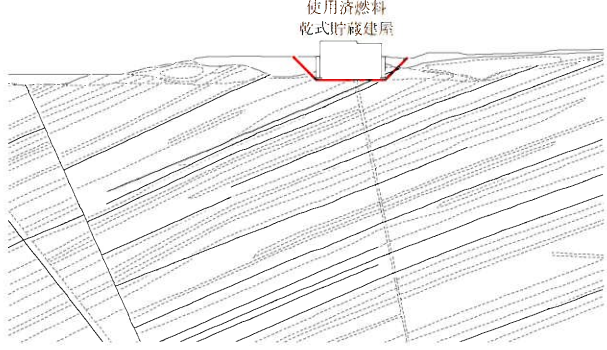
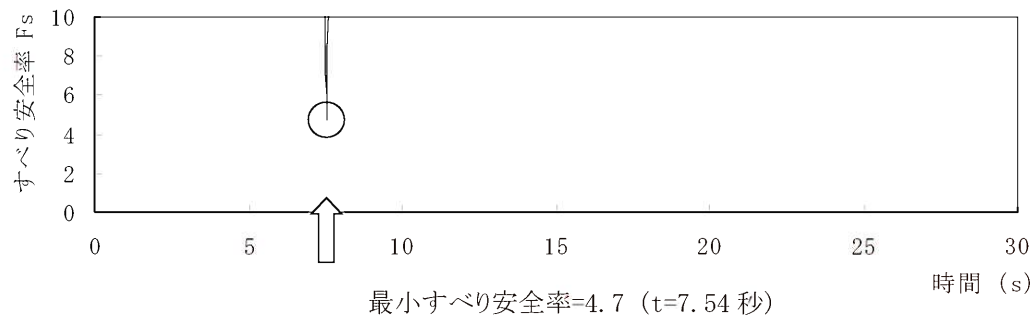
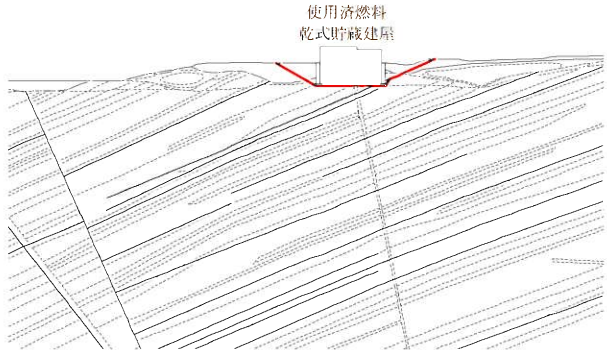
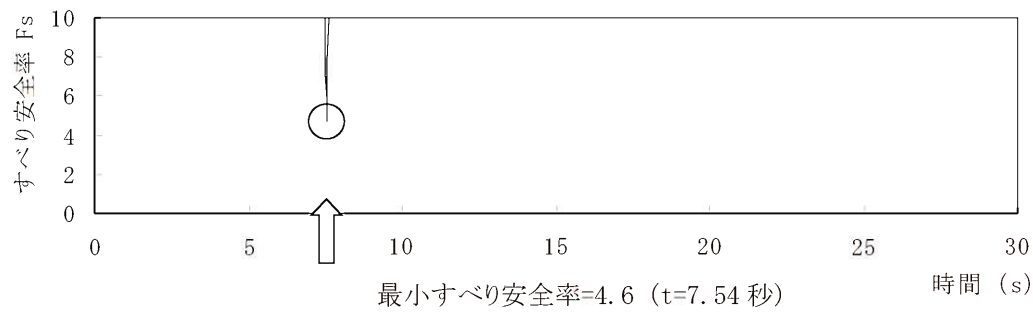
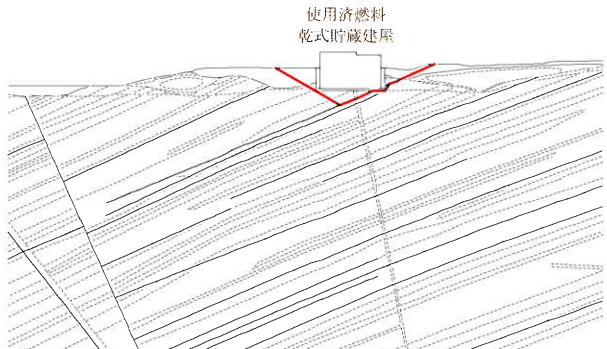
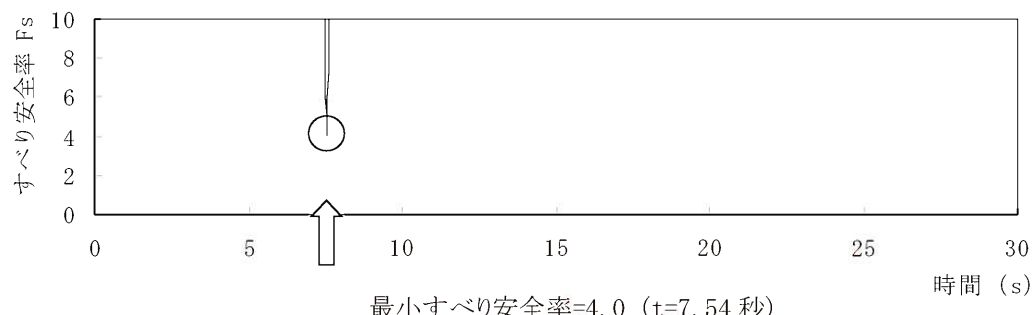


第7.6.7.1表(2) すべり安全率 ($X_{SC} - X_{SC}'$ 断面) (その2)

すべり線番号	すべり線形状	地震動	最小すべり安全率 ^{※1}	時間(秒)	すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)
4		Ss-1	14.8	8.17	
		Ss-2	22.9	17.73	
		Ss-3	20.4	16.50	
		Ss-4	13.4	7.57	
		Ss-5 (NS)	14.4	7.02	
		Ss-5 (EW)	15.5	7.99	
		Ss-6	14.5	17.34	

※1 地震動の位相を反転させたケースを含む - - - - - 岩種・岩級区分線 — 断層・シーム

第 7.6.7.1 表 (3) すべり安全率 ($Y_s - Y_s'$ 断面) (その 1)

すべり線番号	すべり線形状	地震動	最小すべり安全率 ^{※1}	時間(秒)	すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)
1	 <p>使用済燃料 乾式貯蔵建屋</p> <p>建屋底面のすべり</p>	Ss-1	6.2	13.25	 <p>すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)</p> <p>最小すべり安全率=4.7 (t=7.54 秒)</p>
		Ss-2	17.2	11.95	
		Ss-3	8.3	13.96	
		Ss-4	4.7	7.54	
		Ss-5 (NS)	8.5	6.97	
		Ss-5 (EW)	9.5	7.97	
		Ss-6	7.4	17.31	
2	 <p>使用済燃料 乾式貯蔵建屋</p> <p>建屋底面+断層・シームのすべり</p>	Ss-1	5.9	13.25	 <p>すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)</p> <p>最小すべり安全率=4.6 (t=7.54 秒)</p>
		Ss-2	15.8	11.86	
		Ss-3	8.1	13.96	
		Ss-4	4.6	7.54	
		Ss-5 (NS)	7.9	6.97	
		Ss-5 (EW)	8.7	7.97	
		Ss-6	7.2	17.31	
3	 <p>使用済燃料 乾式貯蔵建屋</p> <p>断層・シームのすべり</p>	Ss-1	5.1	13.25	 <p>すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)</p> <p>最小すべり安全率=4.0 (t=7.54 秒)</p>
		Ss-2	13.8	11.86	
		Ss-3	6.7	13.96	
		Ss-4	4.0	7.54	
		Ss-5 (NS)	6.1	7.03	
		Ss-5 (EW)	6.7	6.40	
		Ss-6	5.7	17.31	

※1 地震動の位相を反転させたケースを含む - - - - - 岩種・岩級区分線 — 断層・シーム

第 7.6.7.1 表 (4) すべり安全率 ($Y_s - Y_s'$ 断面) (その 2)

すべり線番号	すべり線形状	地震動	最小すべり安全率 ^{※1}	時間(秒)	すべり安全率タイムヒストリー (すべり安全率が最小となる地震動について示す。)
4		Ss-1	2.5 (3.1 ^{※2})	8.22	
		Ss-2	5.6	14.36	
		Ss-3	3.7	15.25	
		Ss-4	2.8	7.53	
		Ss-5 (NS)	2.7	7.01	
		Ss-5 (EW)	3.1	7.97	
		Ss-6	2.9	17.32	

※1 地震動の位相を反転させたケースを含む

※2 応力再配分後のすべり安全率

----- 岩種・岩級区分線

— 断層・シーム

— 断層・シーム

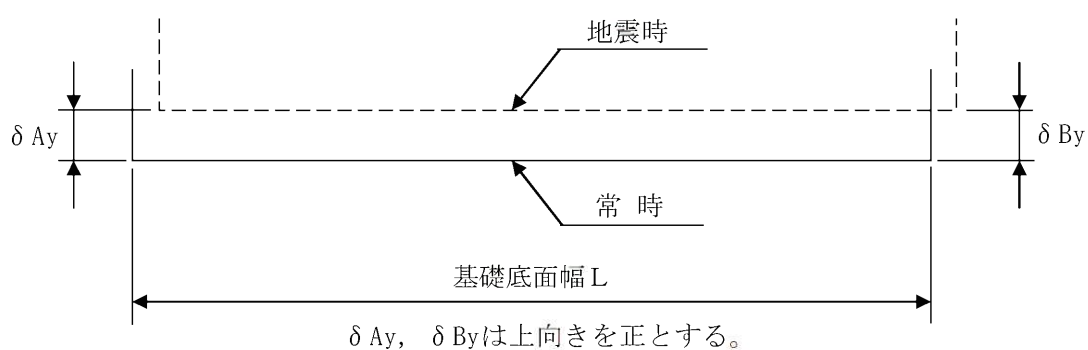
○ すべり安全率の最小値

第 7.6.7.2 表 (1) 基礎底面両端の鉛直方向の相対変位・傾斜

($X_{SC} - X_{SC}'$ 断面)

地震動	最大相対変位 (mm) $ \delta A_y - \delta B_y $	最大傾斜 $\frac{ \delta A_y - \delta B_y }{L}$
Ss-1	1.2	1/51,000
Ss-2	0.4	1/154,000
Ss-3	0.9	1/68,000
Ss-4	1.3	1/47,000
Ss-5 (NS)	1.0	1/62,000
Ss-5 (EW)	0.8	1/77,000
Ss-6	1.3	1/47,000

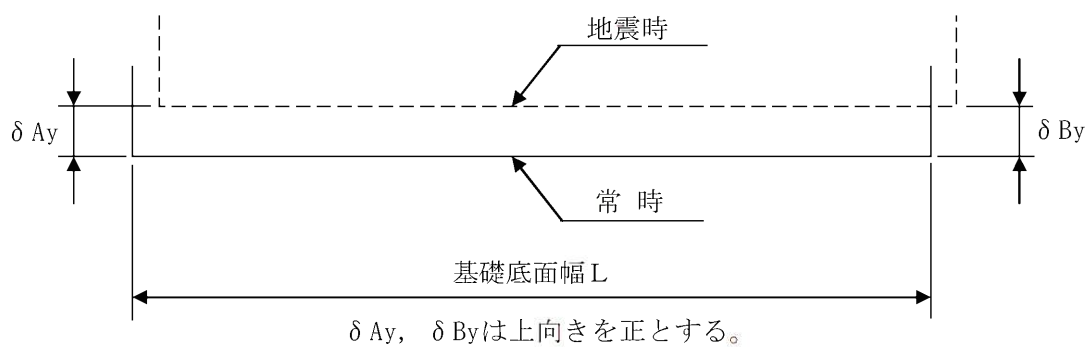
(記号の説明)



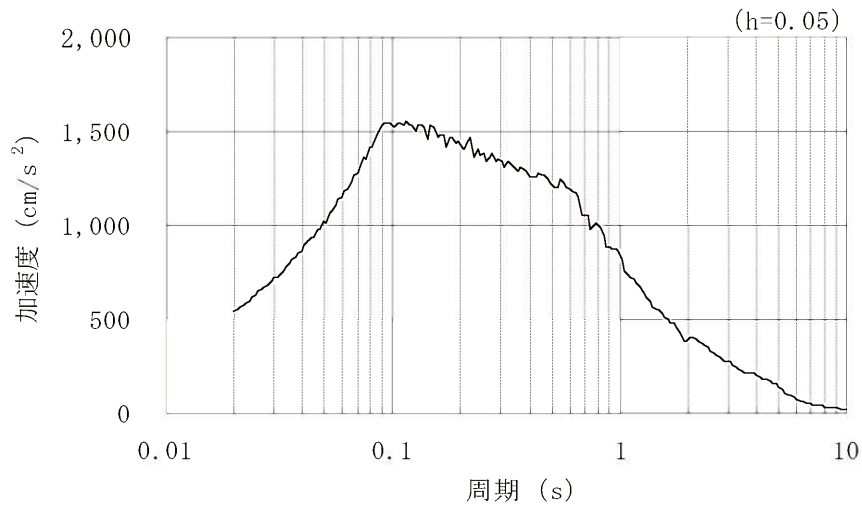
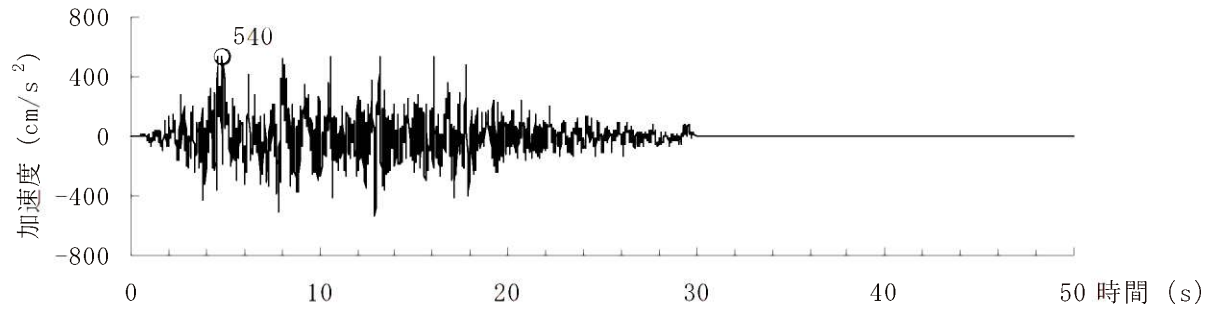
第 7.6.7.2 表 (2) 基礎底面両端の鉛直方向の相対変位・傾斜
($Y_s - Y_{s'}$ 断面)

地震動	最大相対変位 (mm) $ \delta A_y - \delta B_y $	最大傾斜 $\frac{ \delta A_y - \delta B_y }{L}$
S _s -1	0.9	1/53,000
S _s -2	0.7	1/68,000
S _s -3	0.9	1/53,000
S _s -4	1.2	1/40,000
S _s -5 (NS)	0.8	1/60,000
S _s -5 (EW)	0.7	1/68,000
S _s -6	1.1	1/43,000

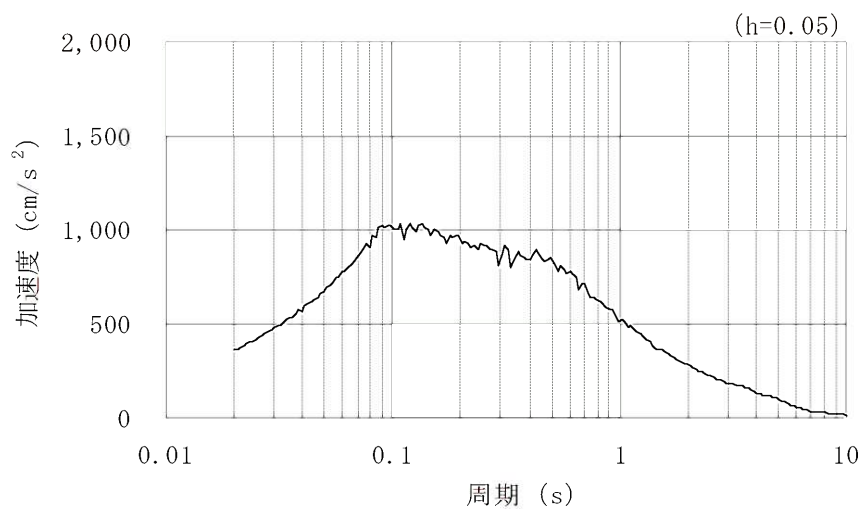
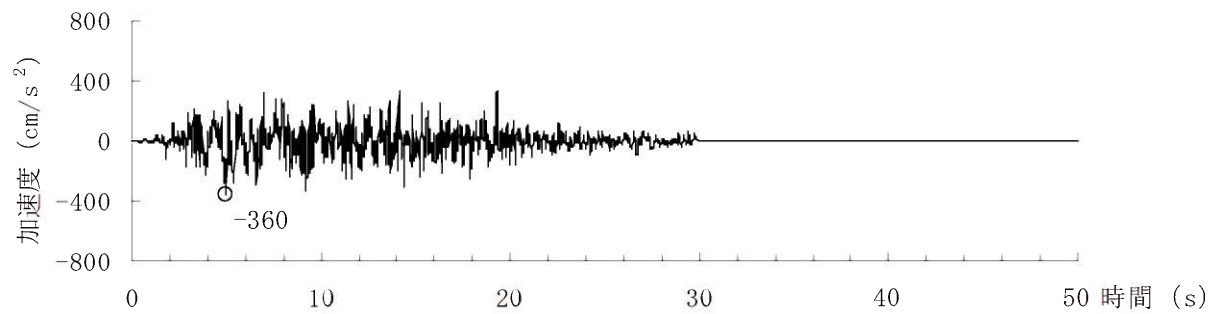
(記号の説明)



(水平動 : Ss-1_h)

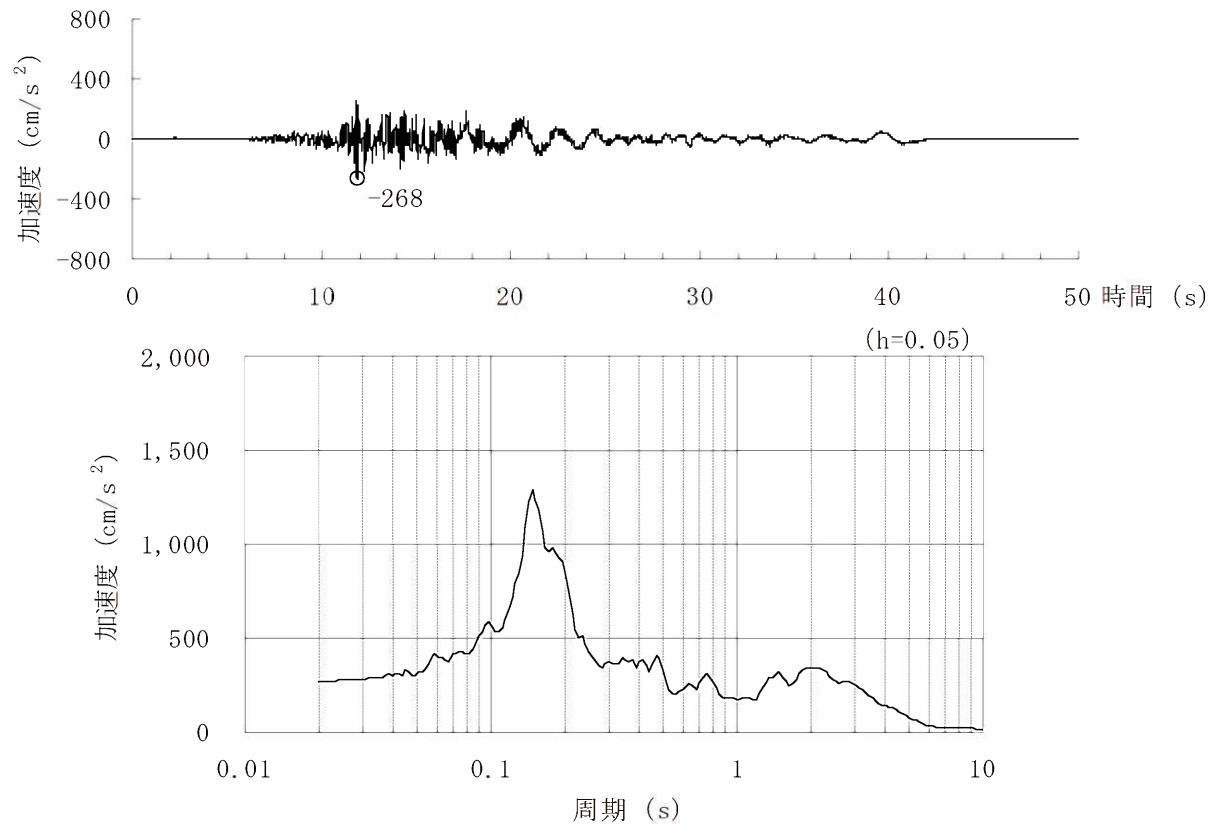


(鉛直動 : Ss-1_v)

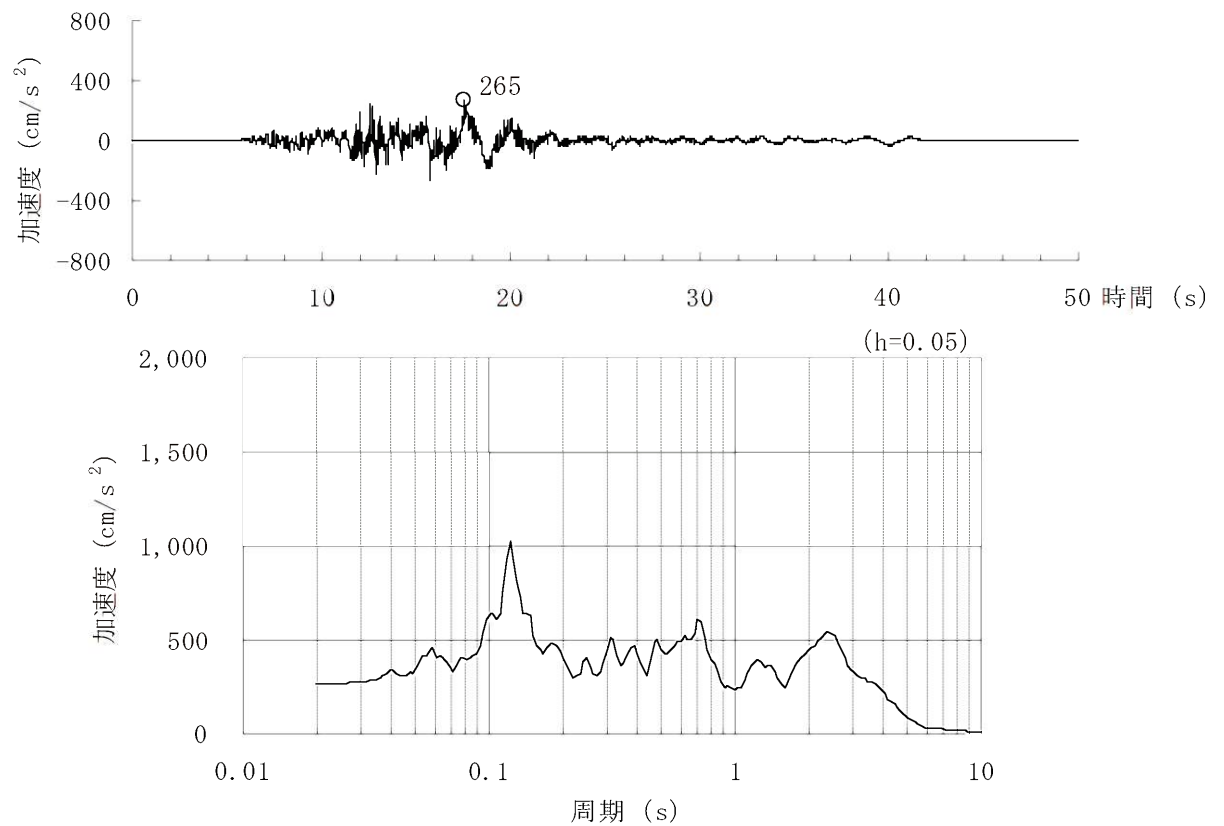


第 7.6.1.6 図 (1) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-1)

(水平動 : $Ss-2_{NS}$)

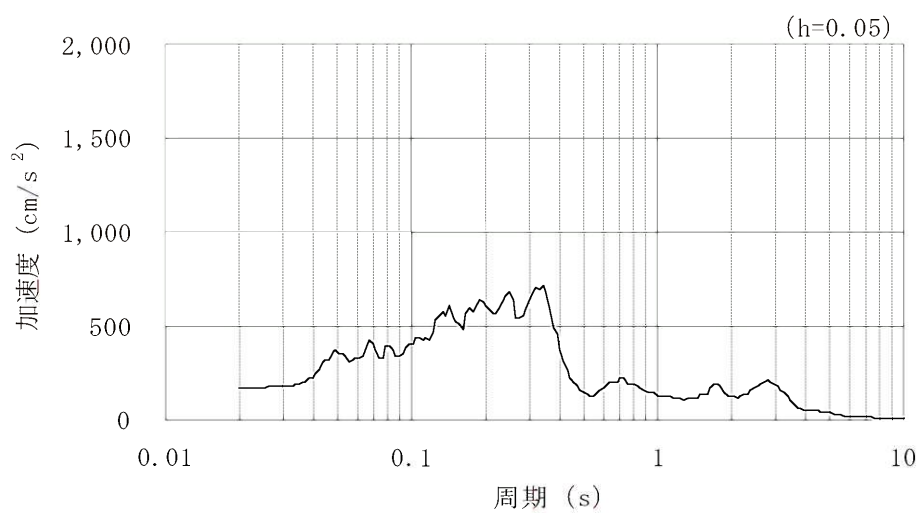
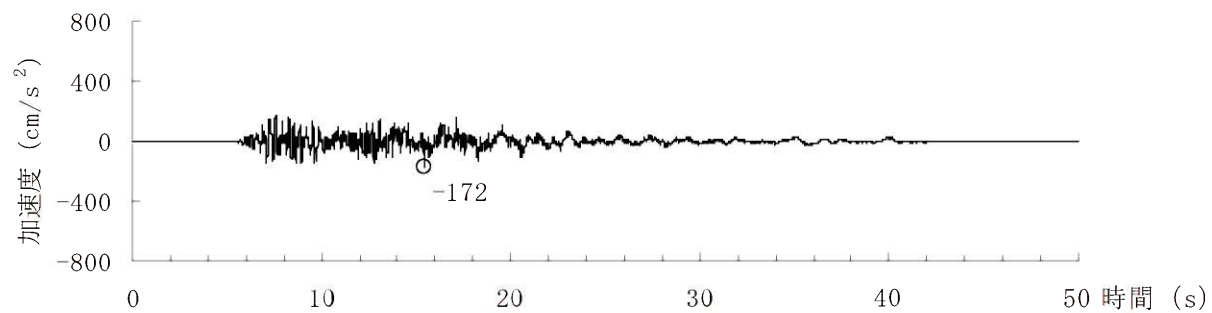


(水平動 : $Ss-2_{FW}$)



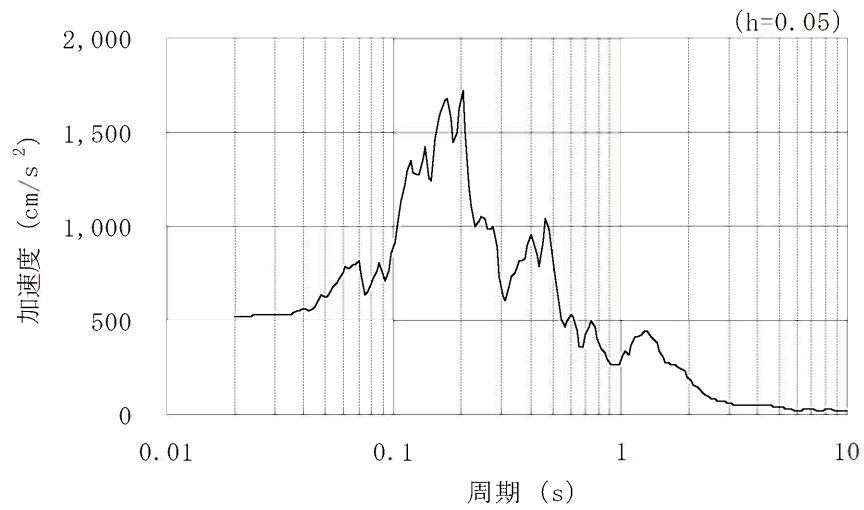
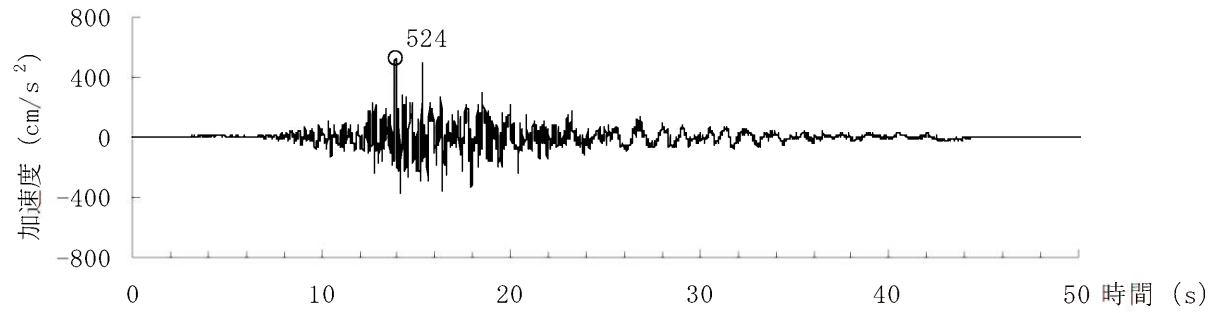
第 7.6.1.6 図 (2) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル ($Ss-2$ 、水平動)

(鉛直動 : Ss-2_{UD})

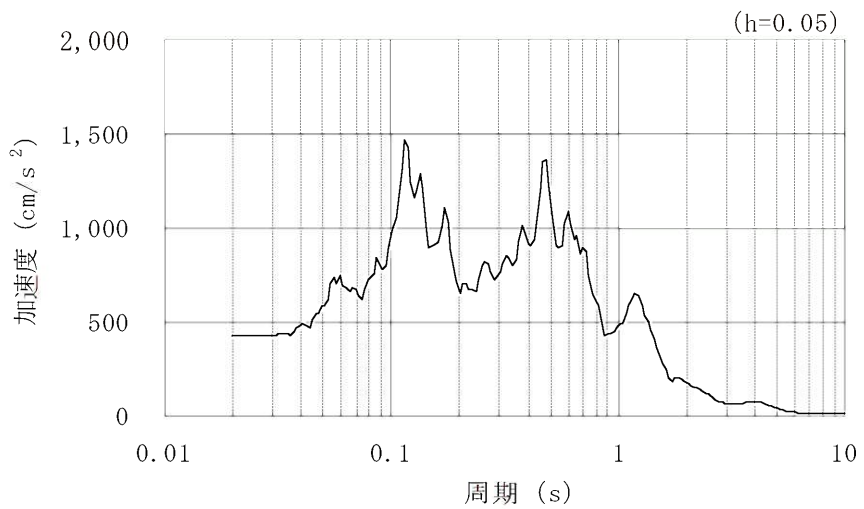
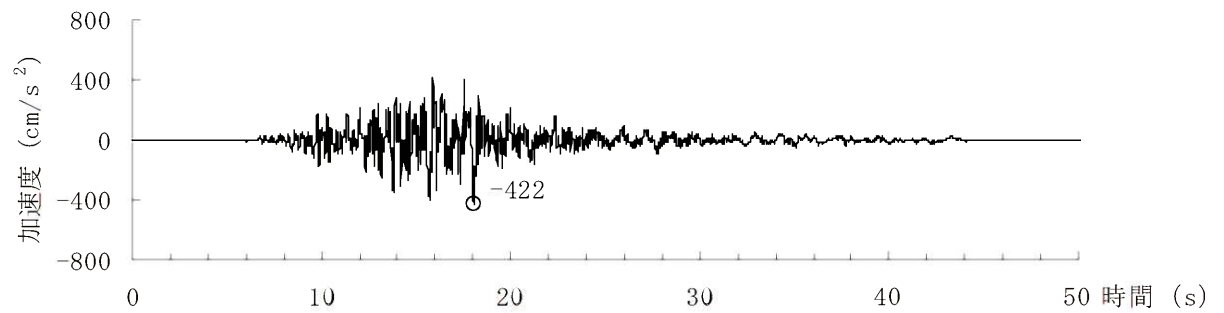


第 7.6.1.6 図 (3) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-2、鉛直動)

(水平動 : Ss-3_S)

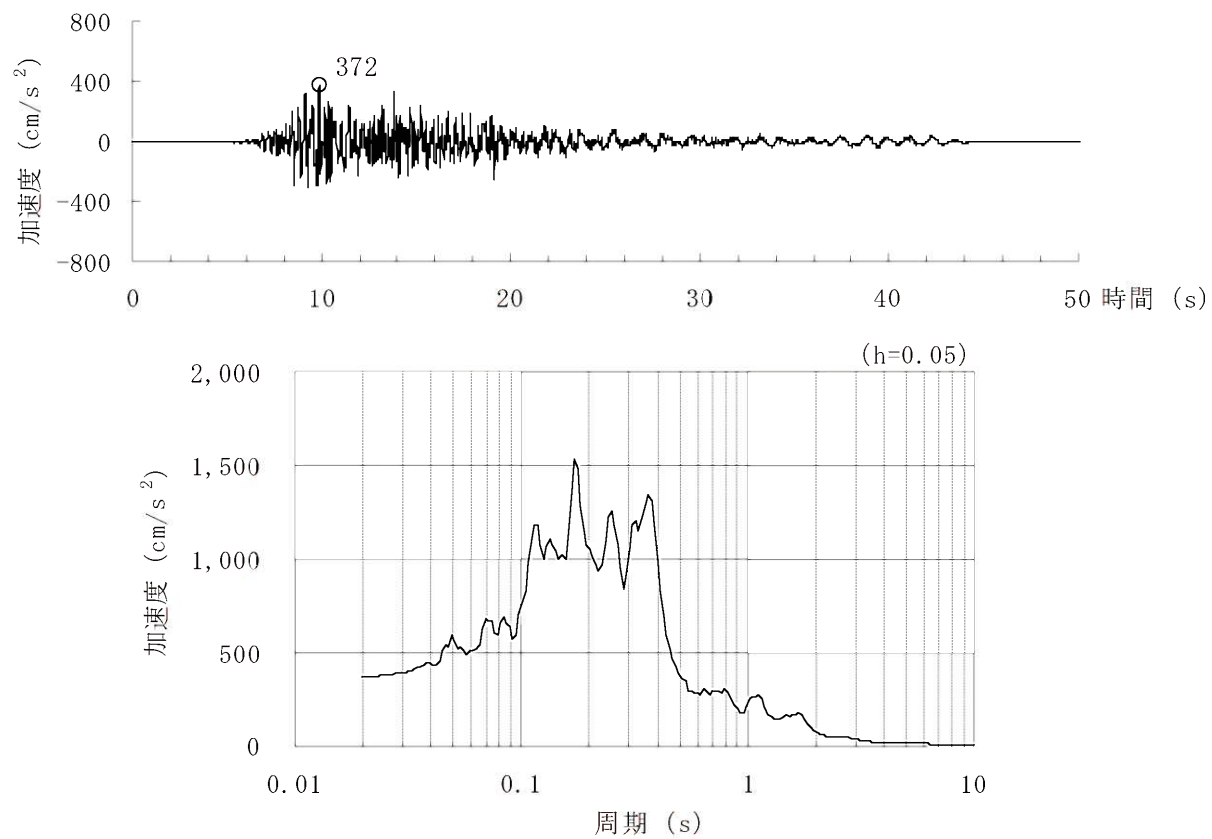


(水平動 : Ss-3_F)



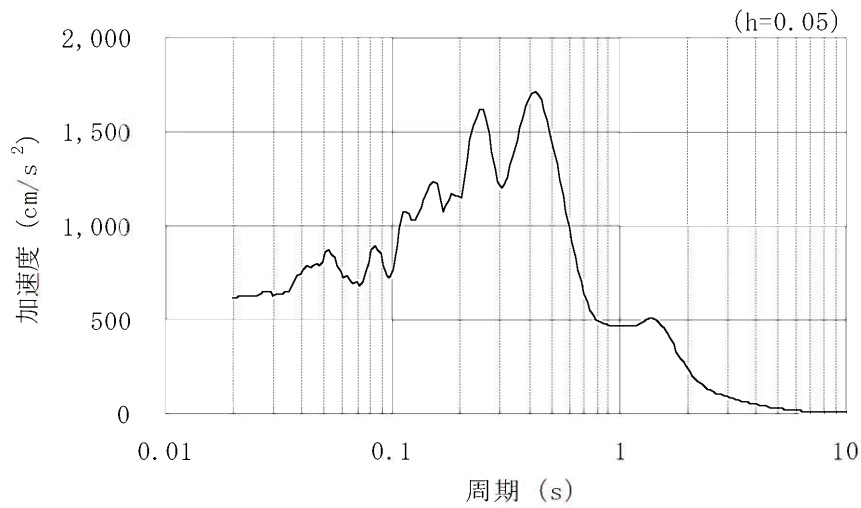
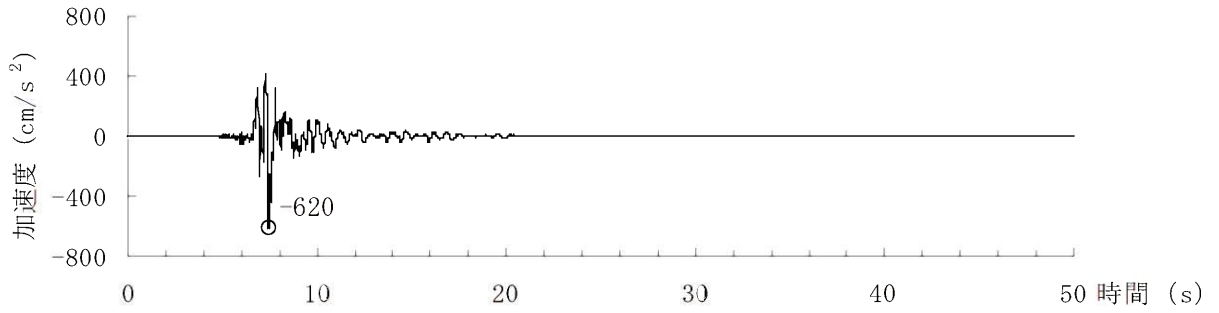
第 7. 6. 1. 6 図 (4) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-3、水平動)

(鉛直動 : Ss-3_{UD})

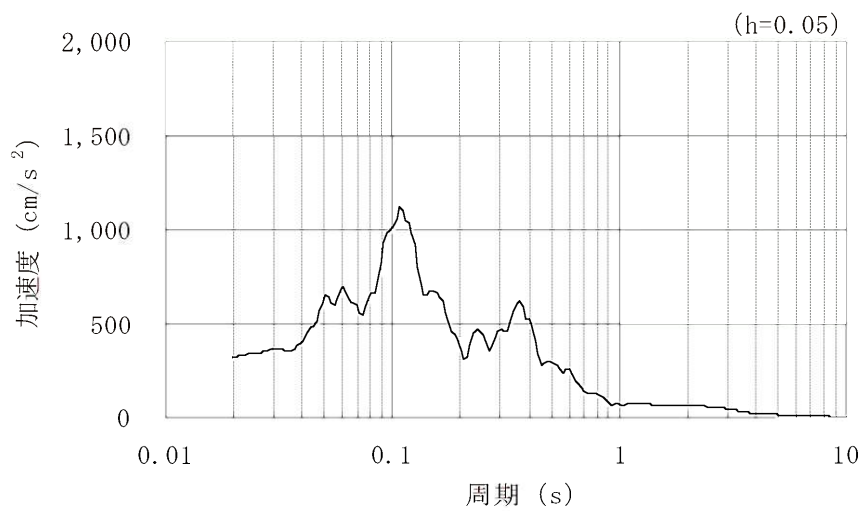
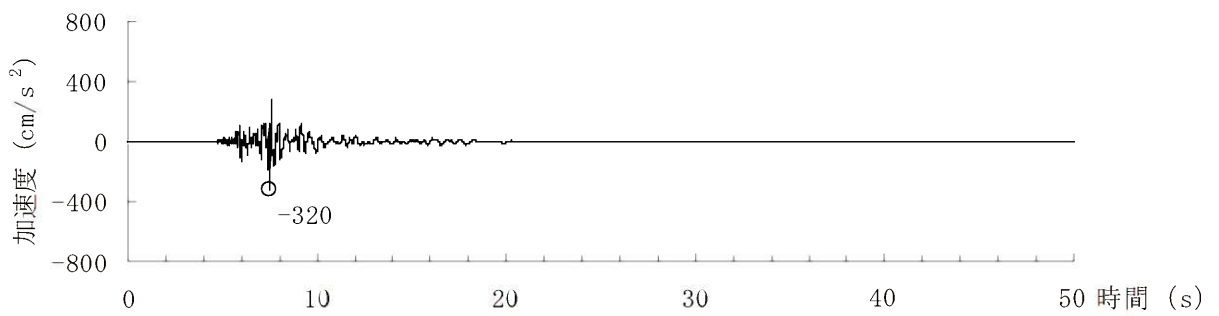


第 7.6.1.6 図 (5) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-3、鉛直動)

(水平動 : Ss-4_h)

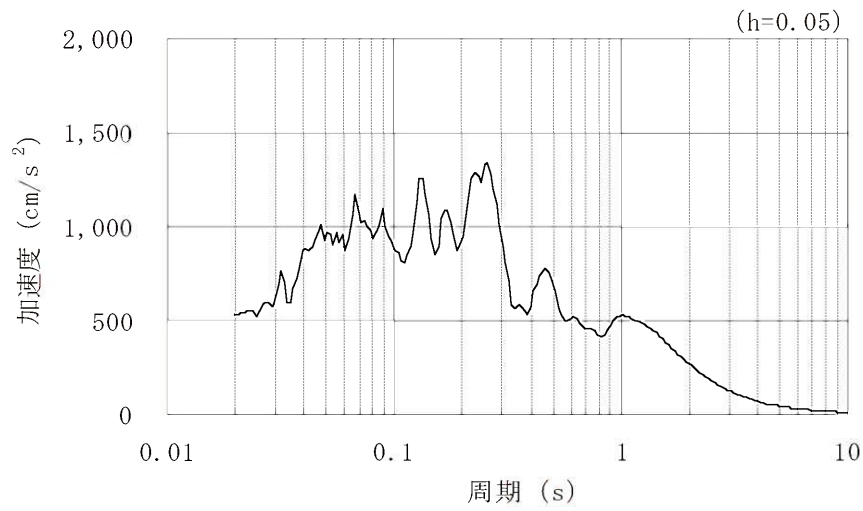
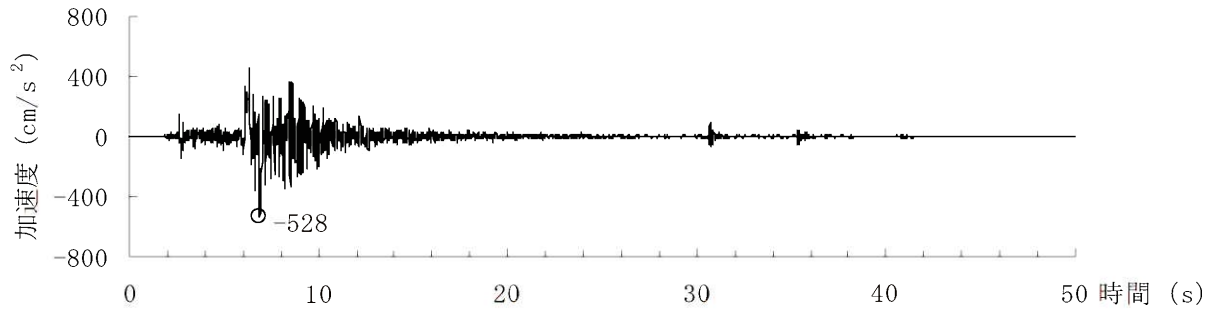


(鉛直動 : Ss-4_v)

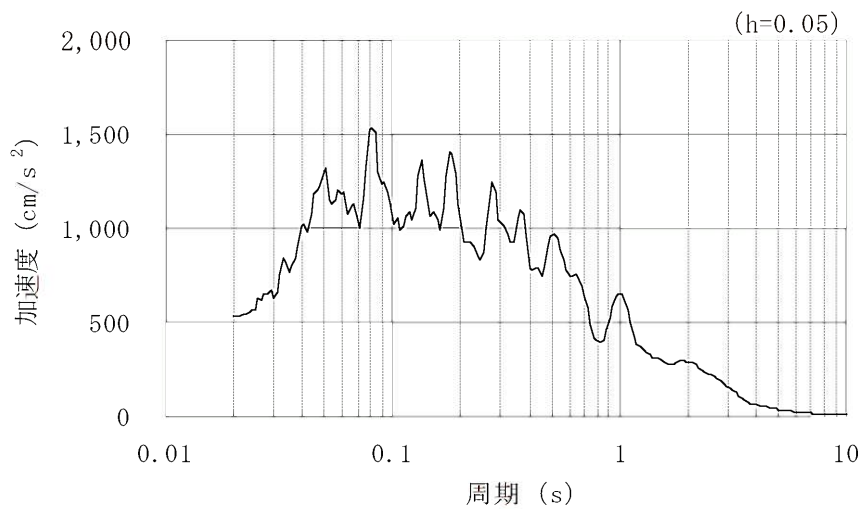
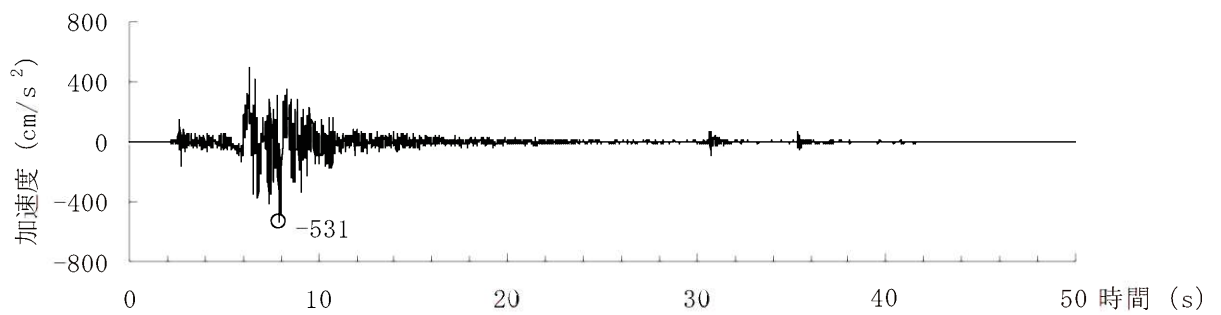


第 7.6.1.6 図 (6) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-4)

(水平動 : Ss-5_S)

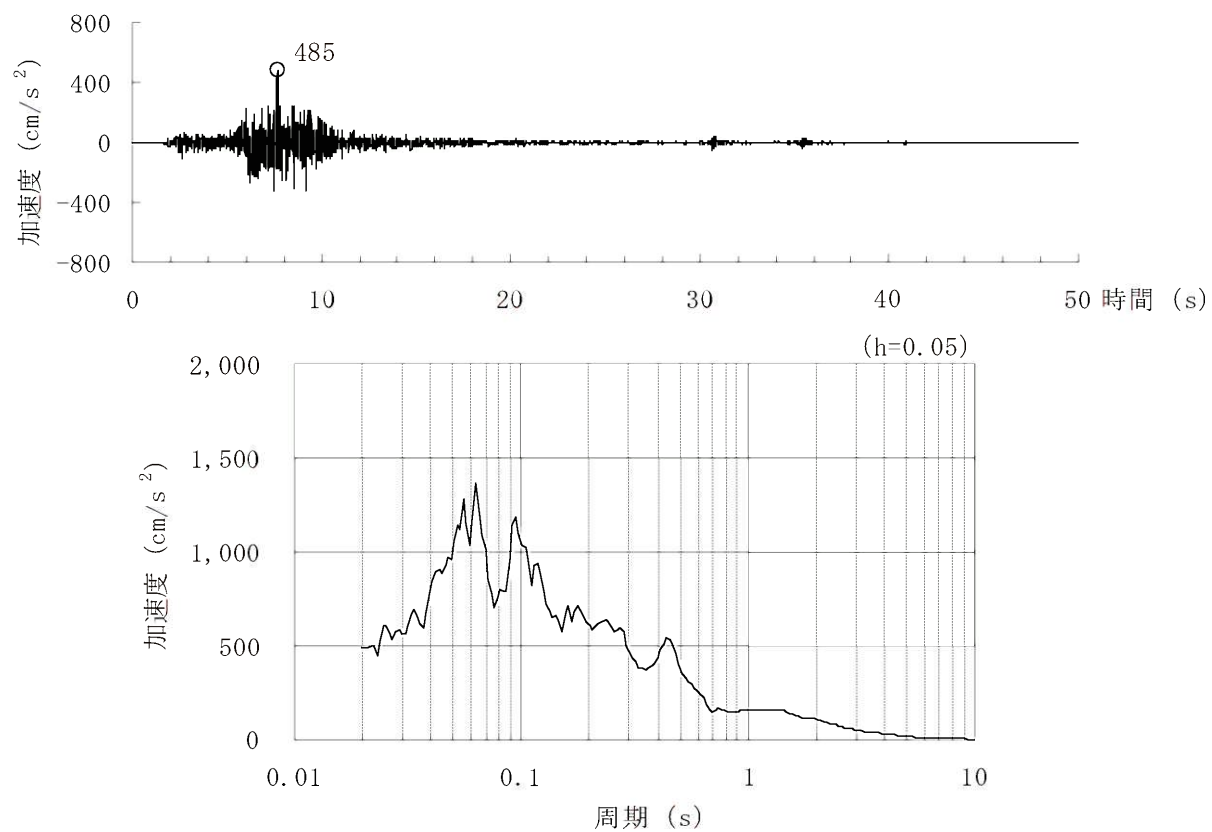


(水平動 : Ss-5_{FW})



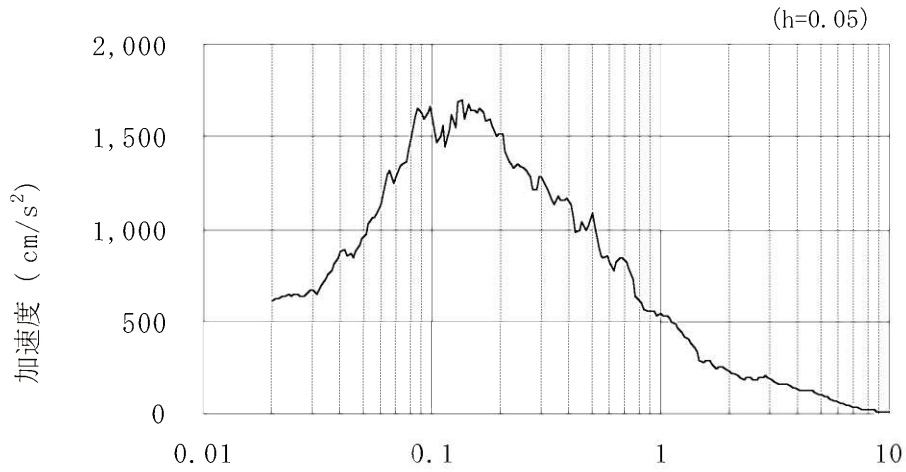
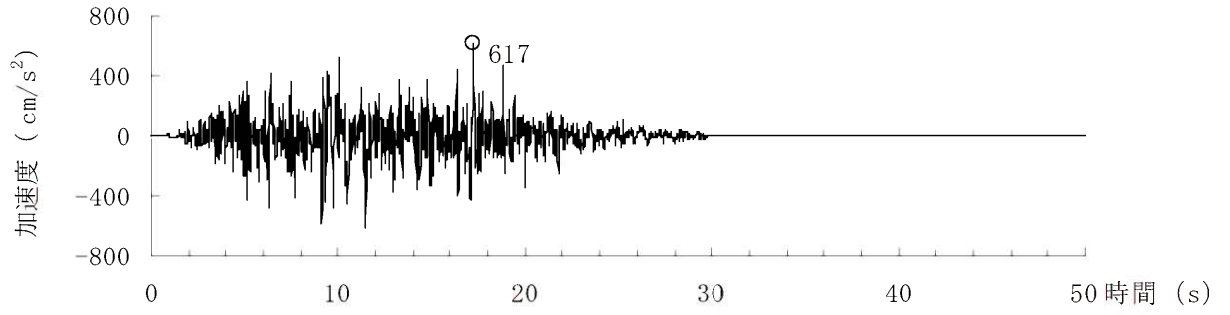
第 7.6.1.6 図 (7) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-5、水平動)

(鉛直動：Ss-5_{UD})

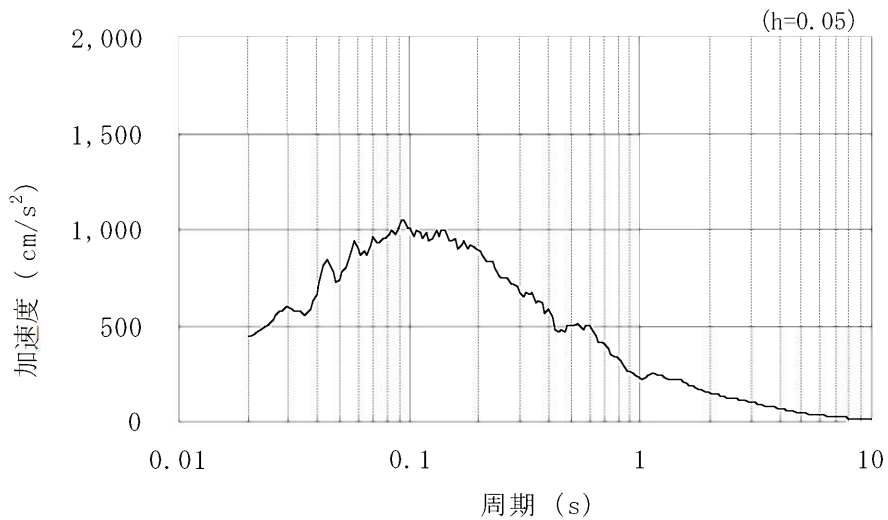
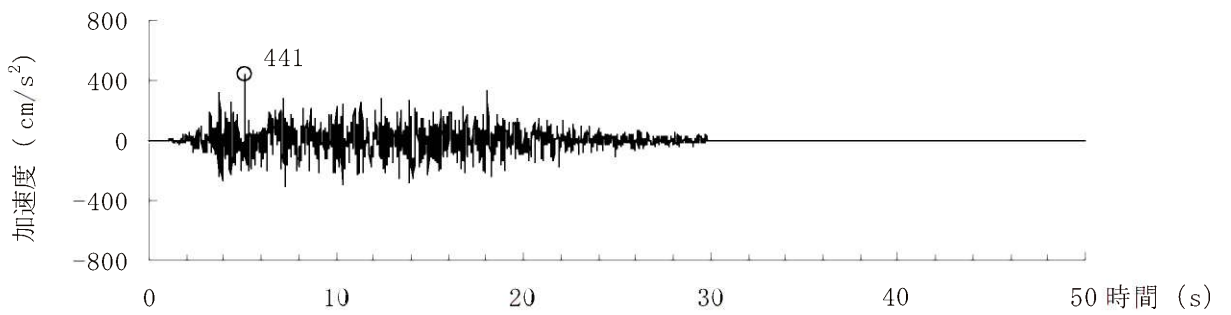


第 7.6.1.6 図 (8) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-5、鉛直動)

(水平動 : Ss-6_h)



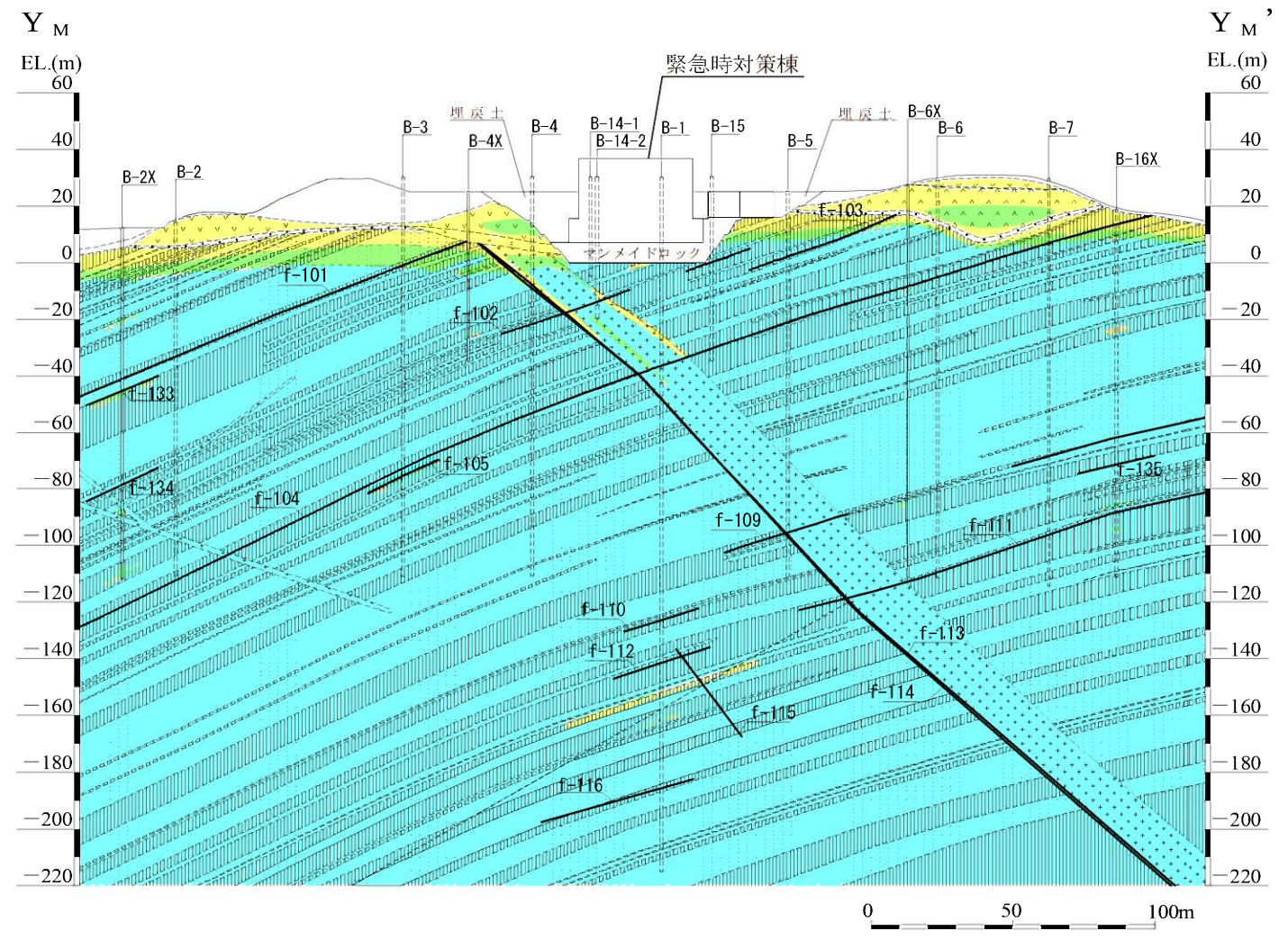
(鉛直動 : Ss-6_v)



第 7.6.1.6 図 (9) 基準地震動の時刻歴波形と加速度応答スペクトル (Ss-6)

- 記号凡例
- (□) ボーリング孔 (投影)
 - (□) 試掘坑 (投影)
 - - - 岩種境界線
 - ⋯⋯ 岩盤分類線
 - 断層 破碎帯
- (G- : 3,4号炉試掘坑で確認された断層)
(f- : 上記以外の断層)

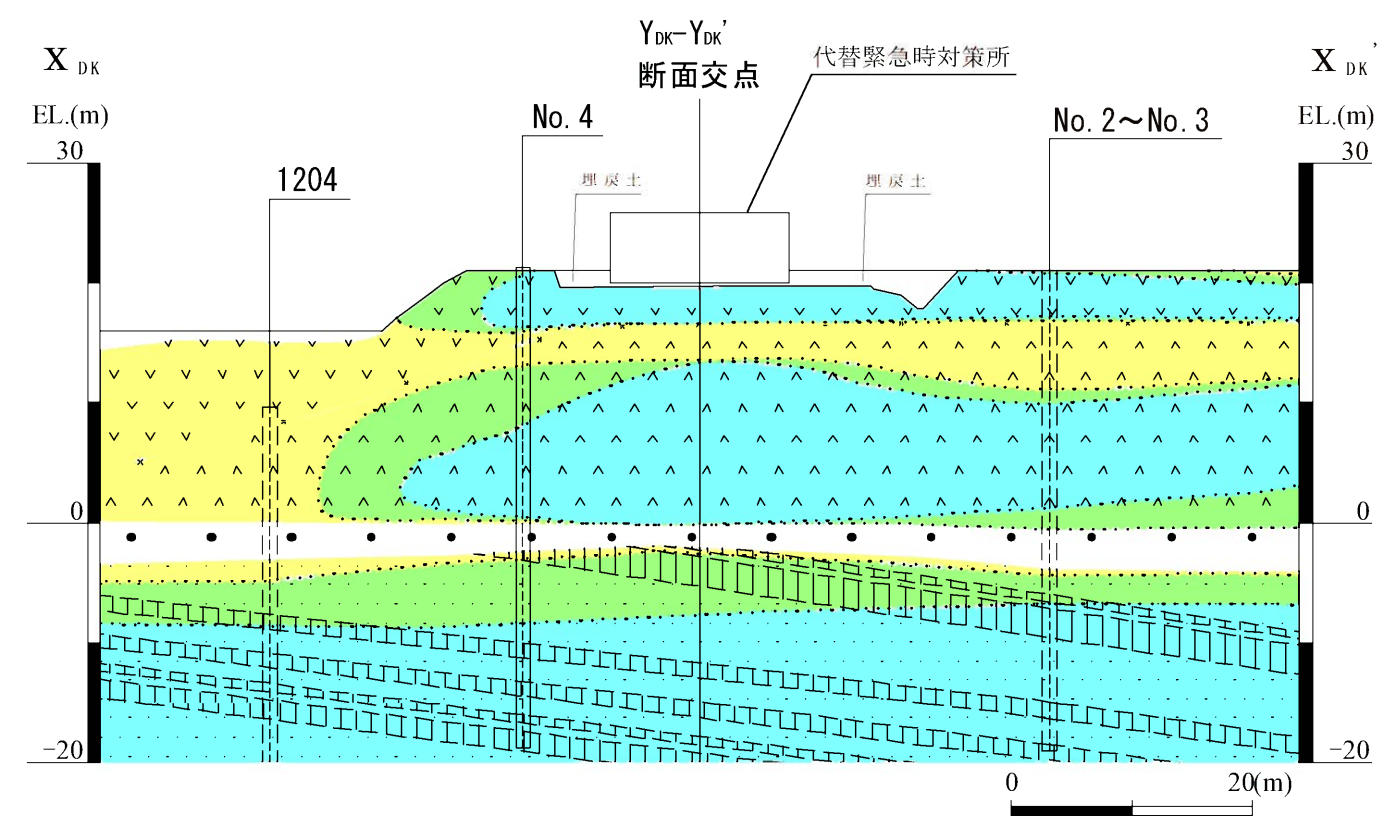
- 凡例
- 表土 (盛土等を含む)
 - ▽▽ 無斑晶質玄武岩
 - ×× 凝灰岩
 - ^^ かんらん石粗粒玄武岩
 - 八ノ久保砂礫層
 - ×× 珩岩
 - |||| 頁岩
 - 砂岩
 - Ⓐ A級岩盤
 - Ⓑ B級岩盤
 - Ⓒ C級岩盤



第 7.6.3.4 図 (1) 鉛直岩盤分類図 (Y_M - Y_{M'} 断面)
6(3)-7-6-82

- 記号凡例
- (□) ボーリング孔 (投影)
 - (□) 試掘坑 (投影)
 - 岩種境界線
 - 岩盤分類線
 - 断層 破碎帯
 - (G- : 3,4号炉試掘坑で確認された断層)
 - (f- : 上記以外の断層)

- 凡例
- 表土 (盛土等を含む)
 - ▽▽▽ 無斑晶質玄武岩
 - ××× 凝灰岩
 - ^^^ かんらん石粗粒玄武岩
 - 八ノ久保砂礫層
 - ××× 珩岩
 - ||||| 頁岩
 - 砂岩
 - (A) (A) 級岩盤
 - (B) (B) 級岩盤
 - (C) (C) 級岩盤



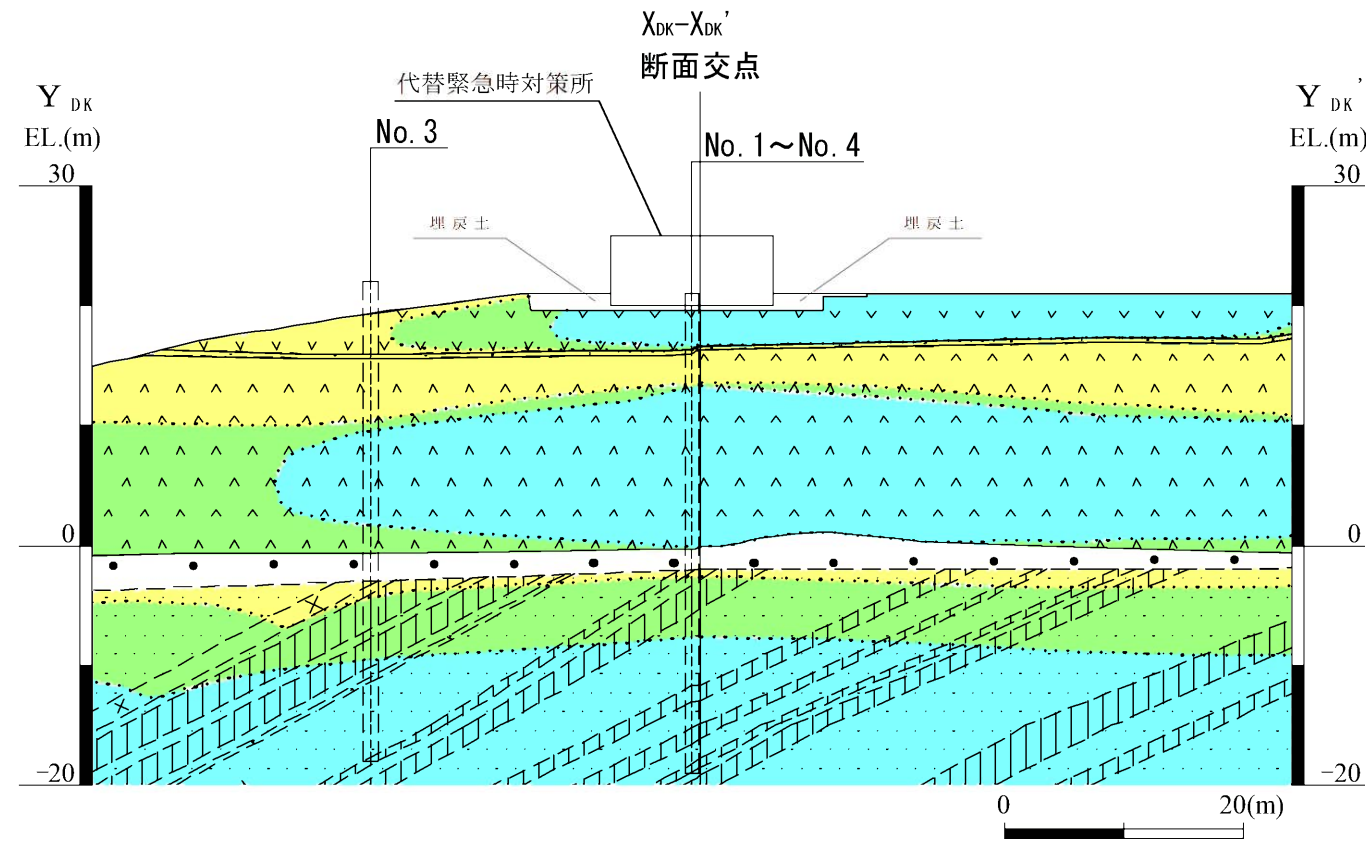
第 7.6.3.4 図 (2) 鉛直岩盤分類図 ($X_{DK}-X_{DK}'$ 断面)
6(3)-7-6-83

記号凡例

	ボーリング孔 (投影)
	試掘坑 (投影)
	岩種境界線
	岩盤分類線
	断層 破碎帯
(G- : 3,4号炉試掘坑で確認された断層)	
(f- : 上記以外の断層)	


凡例

	表土 (盛土等を含む)
	無斑晶質玄武岩
	凝灰岩
	かんらん石粗粒玄武岩
	八ノ久保砂礫層
	珸岩
	頁岩
	砂岩
	①級岩盤
	②級岩盤
	③級岩盤

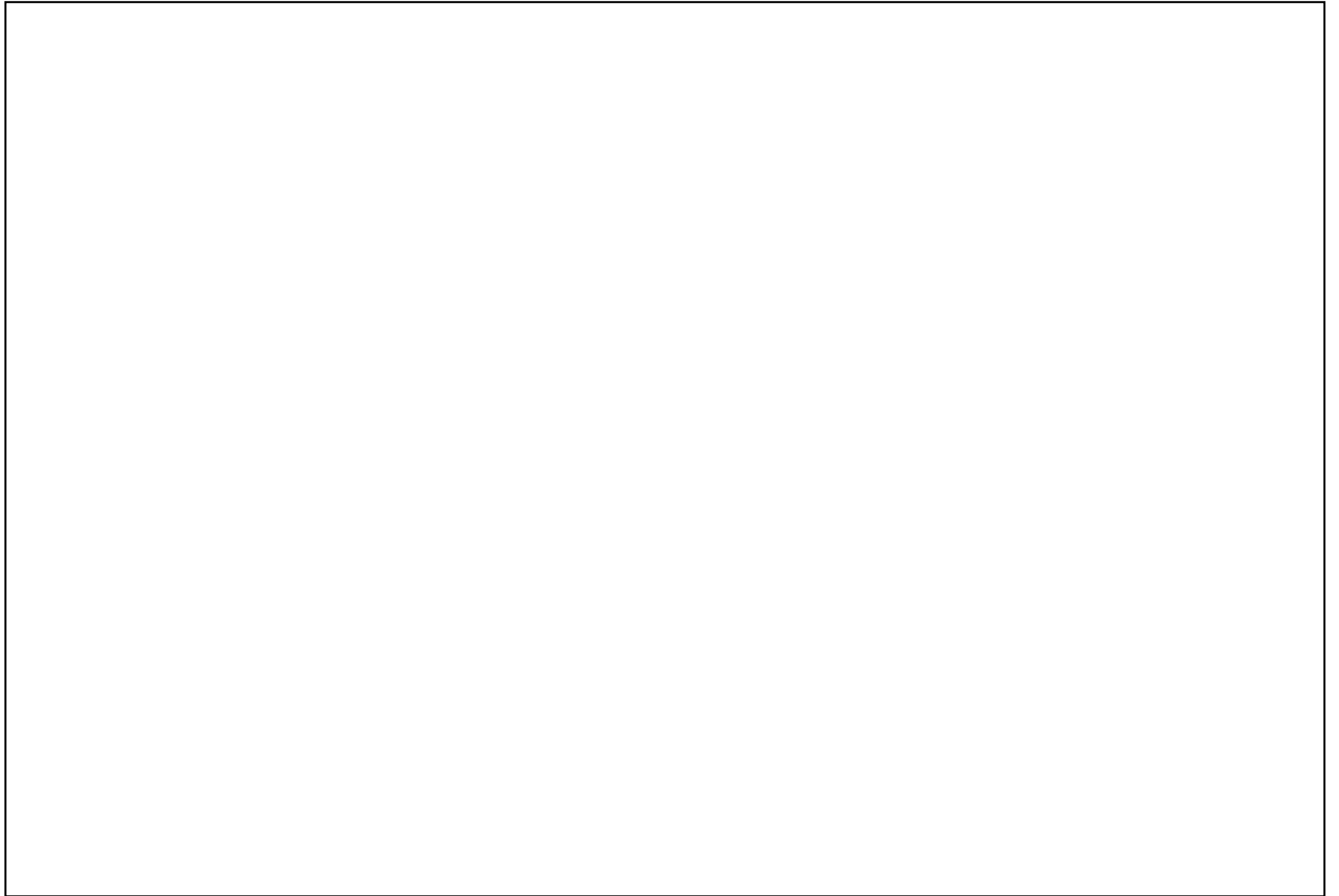



第 7.6.3.4 図 (3) 鉛直岩盤分類図 (Y_{DK} - Y_{DK}' 断面)
6(3)-7-6-84



 : 防護上の観点から公開できません


第 7.6.5.4 図 (1) 鉛直岩盤分類図 ($X_w - X_w'$ 断面)



 : 防護上の観点から公開できません


第 7.6.5.4 図 (2) 鉛直岩盤分類図 ($X_T - X_{T'}$ 断面)

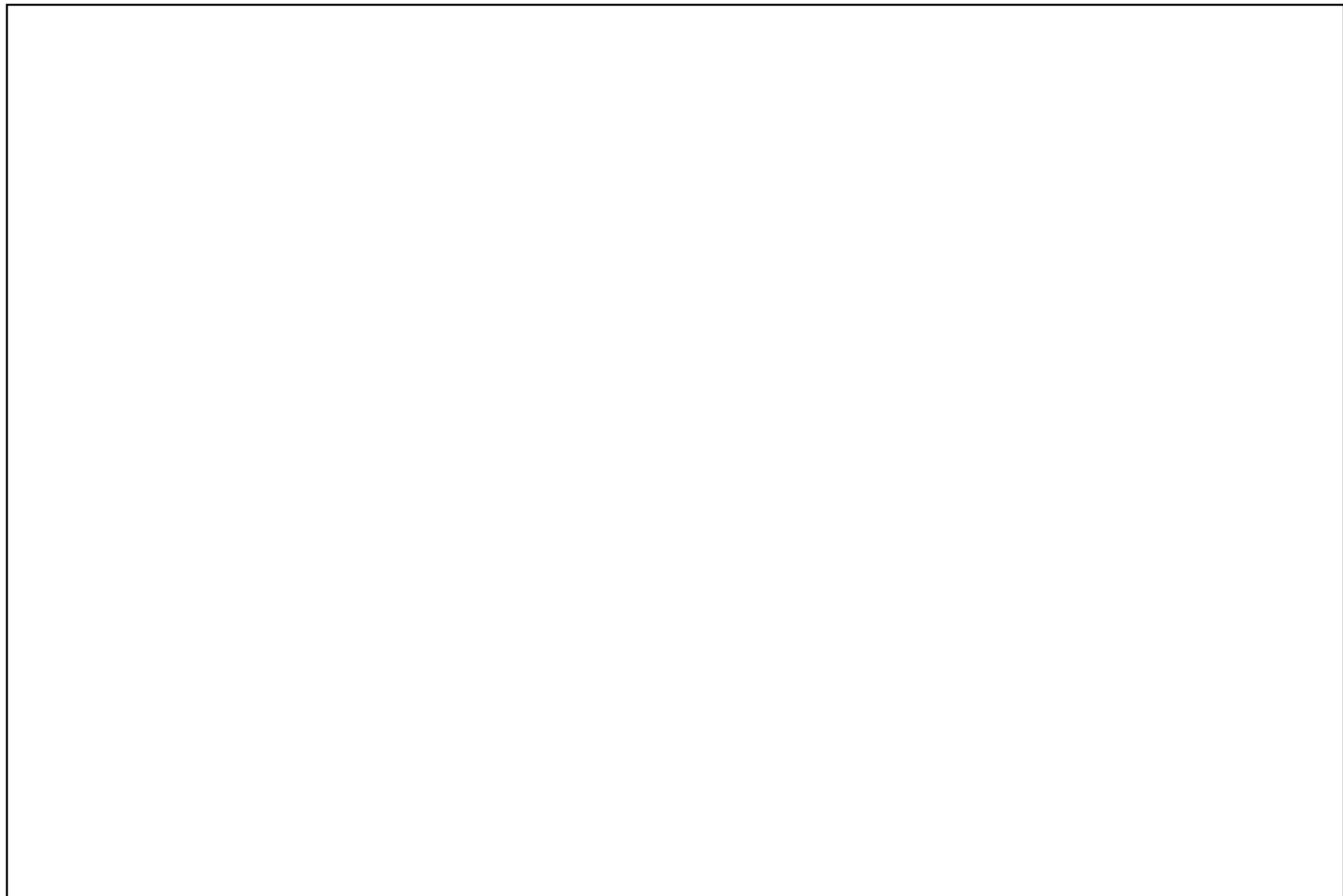



 : 防護上の観点から公開できません

第 7.6.5.4 図 (3) 鉛直岩盤分類図 ($X_{G2} - X_{G2}'$ 断面)




 : 防護上の観点から公開できません




 : 防護上の観点から公開できません

第 7.6.5.4 図 (5) 鉛直岩盤分類図 ($Y_4 - Y_4'$ 断面)




 : 防護上の観点から公開できません

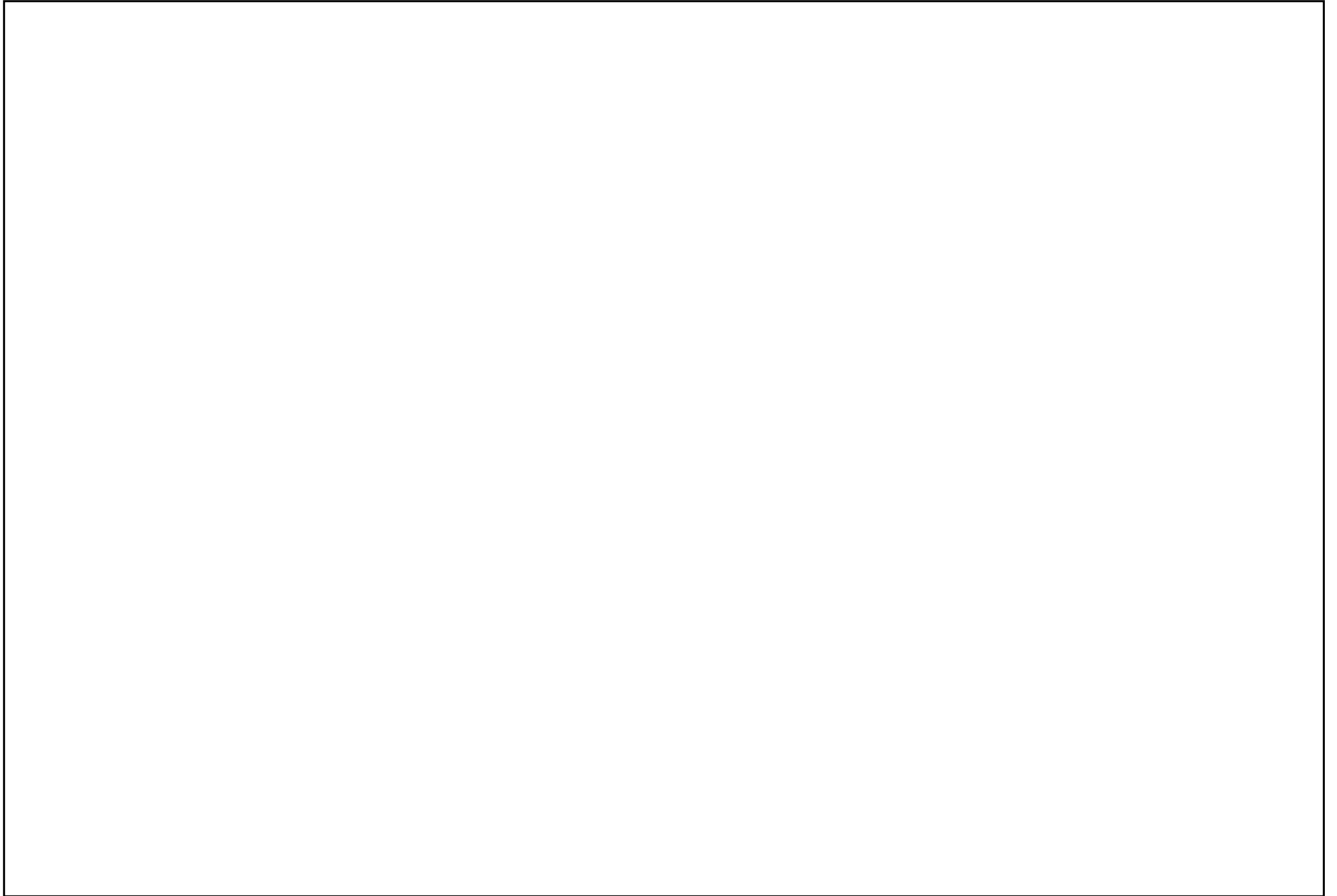



 : 防護上の観点から公開できません

第 7.6.5.4 図 (7) 鉛直岩盤分類図 ($Y_T - Y_{T'}$ 断面)



 : 防護上の観点から公開できません

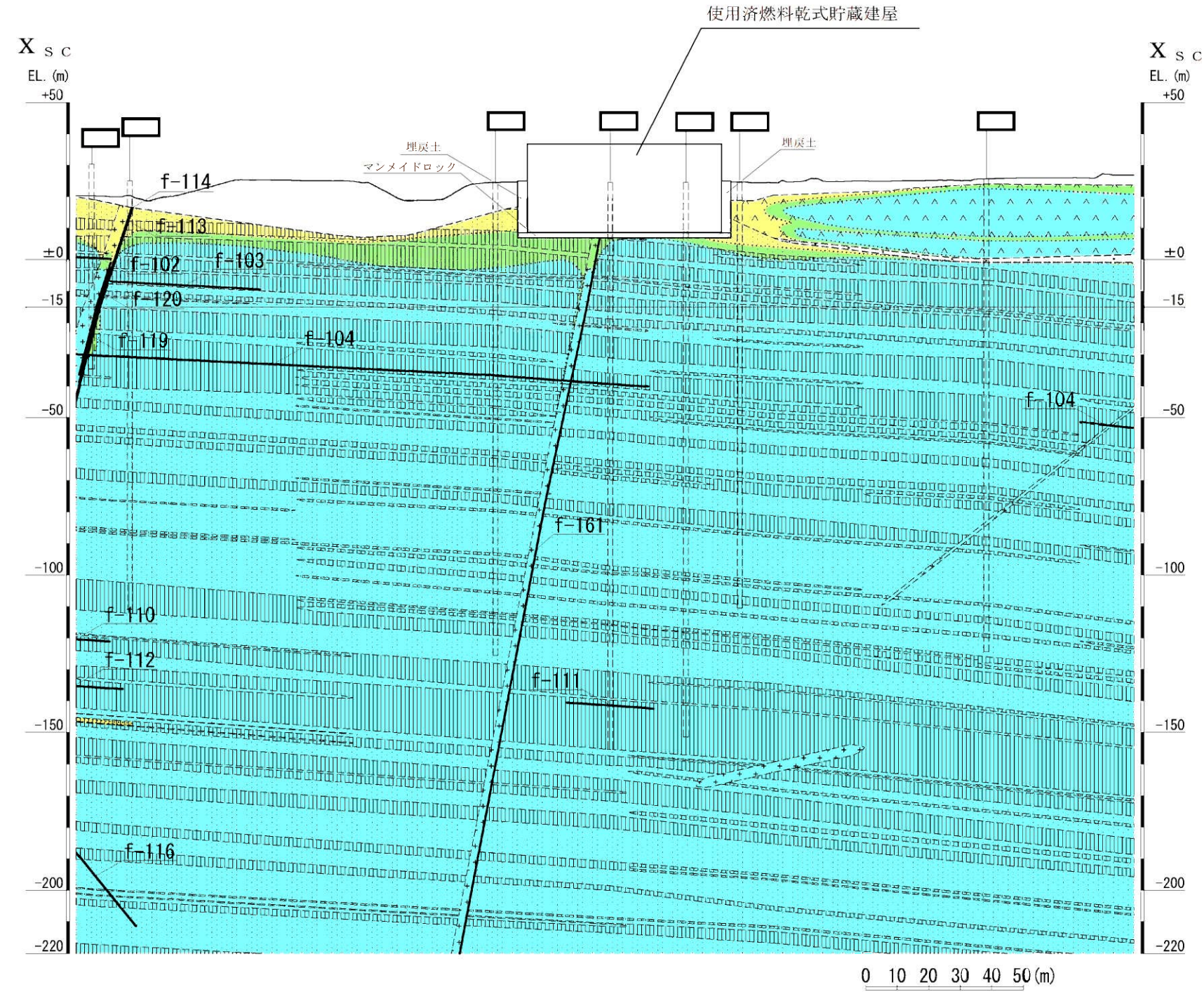


 : 防護上の観点から公開できません

第 7.6.6.3 図 鉛直岩盤分類図 ($X_T - X_{T'}$ 断面)

記号凡例	
□ (○)	ボーリング孔 (投影)
□ (□)	試掘坑 (投影)
—	岩種境界線
—	岩盤分類線
—	断層 破碎帯
(G- : 3, 4号炉試掘坑で確認された断層)	
(g- : 1, 2号炉試掘坑で確認された断層)	
(f- : 上記以外の断層)	

凡例	
□	表土 (盛土等を含む)
□	無斑晶質玄武岩
□	凝灰岩
□	かんらん石粗粒玄武岩
□	八ノ久保砂礫層
□	珩岩
□	頁岩
□	砂岩
□ (A)	A級岩盤
□ (B)	B級岩盤
□ (C)	C級岩盤



□ : 防護上の観点から公開できません。

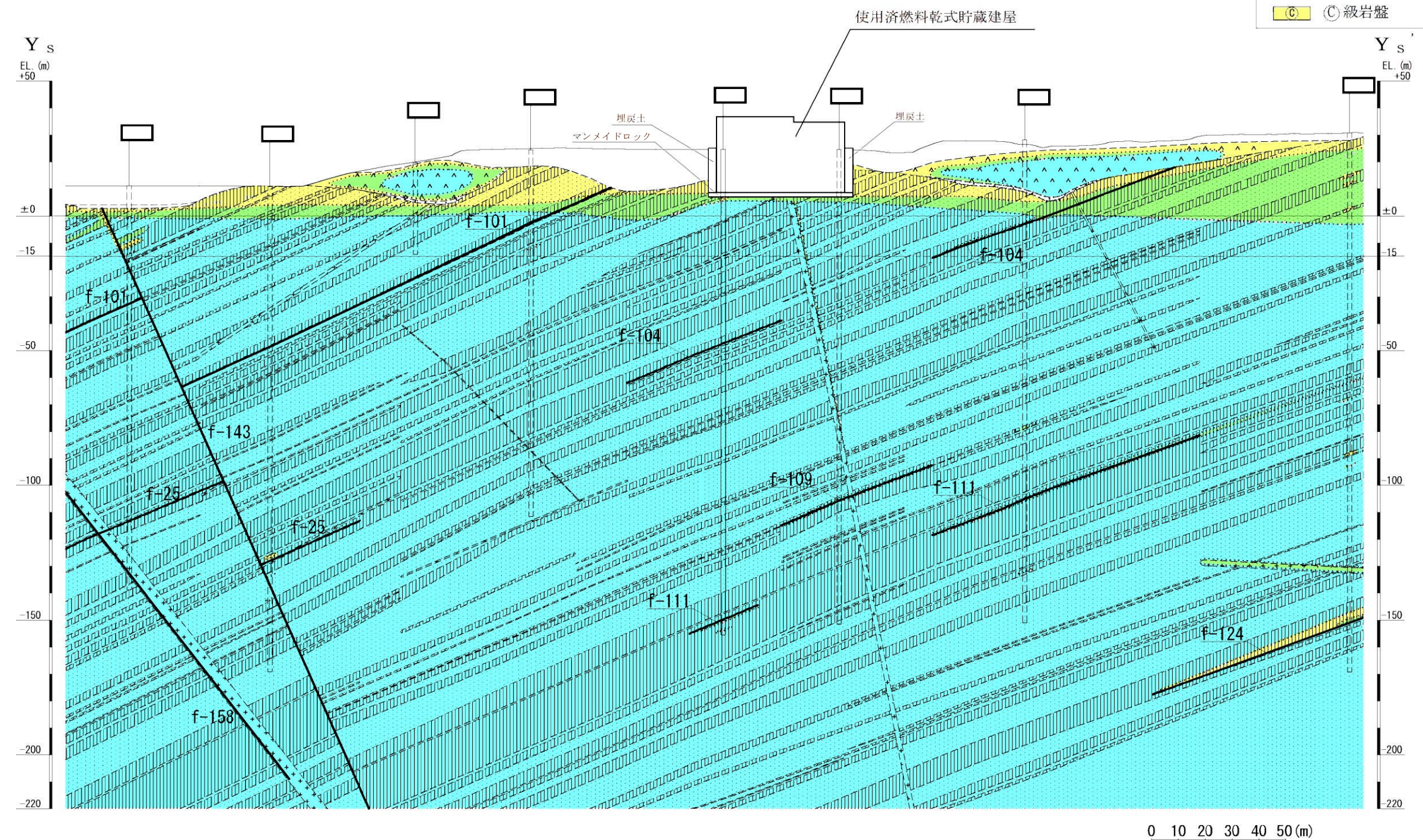
第 7.6.7.4 図 (1) 鉛直岩盤分類図 (X_{sc} - X_{sc'} 断面)

記号凡例

	ボーリング孔 (投影)
	試掘坑 (投影)
	岩種境界線
	岩盤分類線
	断層 破碎帯
(G- : 3, 4号炉試掘坑で確認された断層)	
(g- : 1, 2号炉試掘坑で確認された断層)	
(f- : 上記以外の断層)	

凡例

	表土 (盛土等を含む)
	無斑晶質玄武岩
	凝灰岩
	かんらん石粗粒玄武岩
	八ノ久保砂礫層
	珩岩
	頁岩
	砂岩
	A級岩盤
	B級岩盤
	C級岩盤



: 防護上の観点から公開できません。

第 7.6.7.4 図 (2) 鉛直岩盤分類図 (Y_s - Y_{s'} 断面)
6(3)-7-6-95

(4 号 炉)

7. 発電用原子炉設置変更許可申請（平成25年7月12日申請）に係る気象、地盤、水理、地震、社会環境等

7.5 地 震

3号炉に同じ。

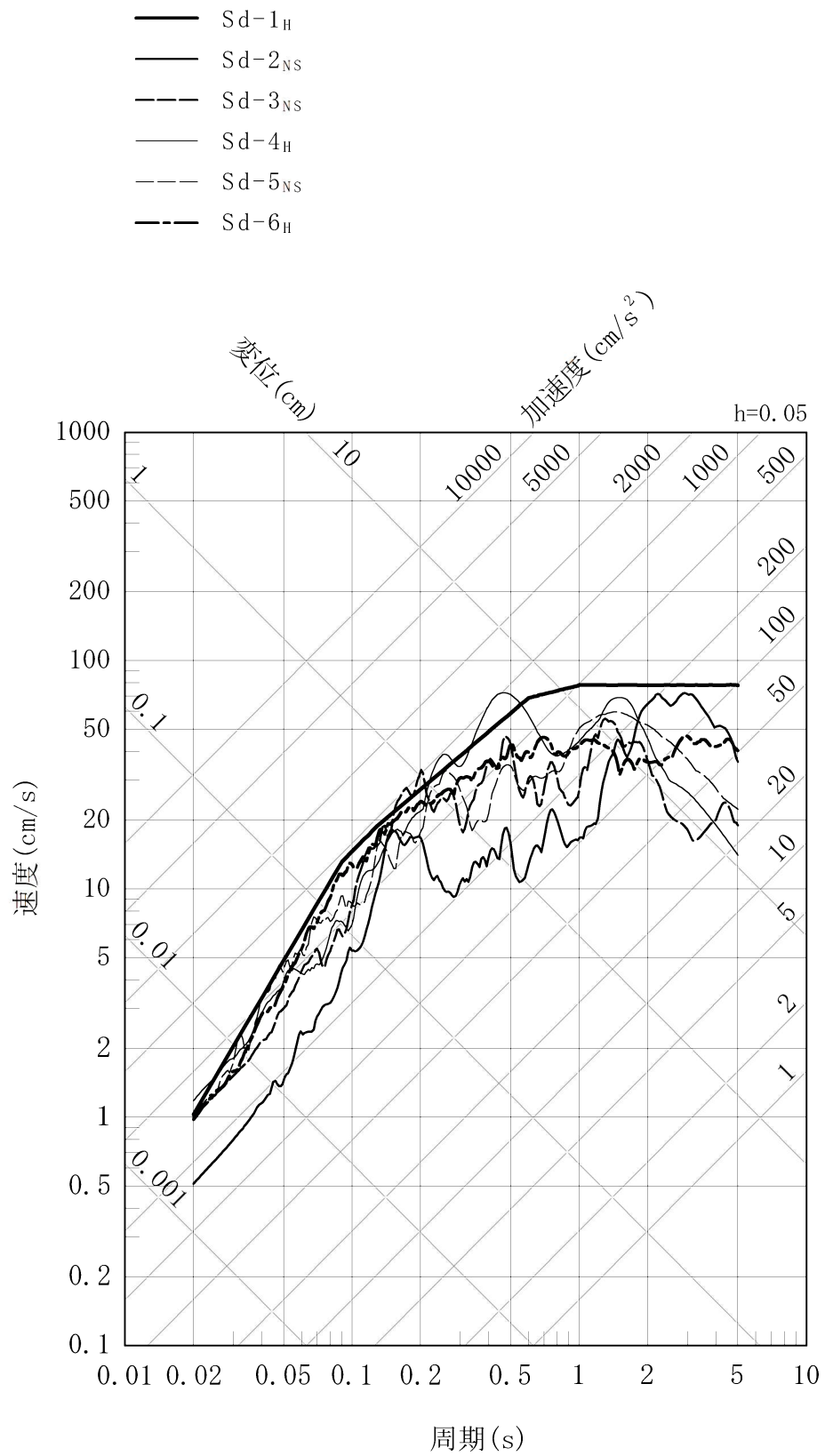
7.6 原子炉格納容器、原子炉周辺建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の
安定性

3号炉に同じ。

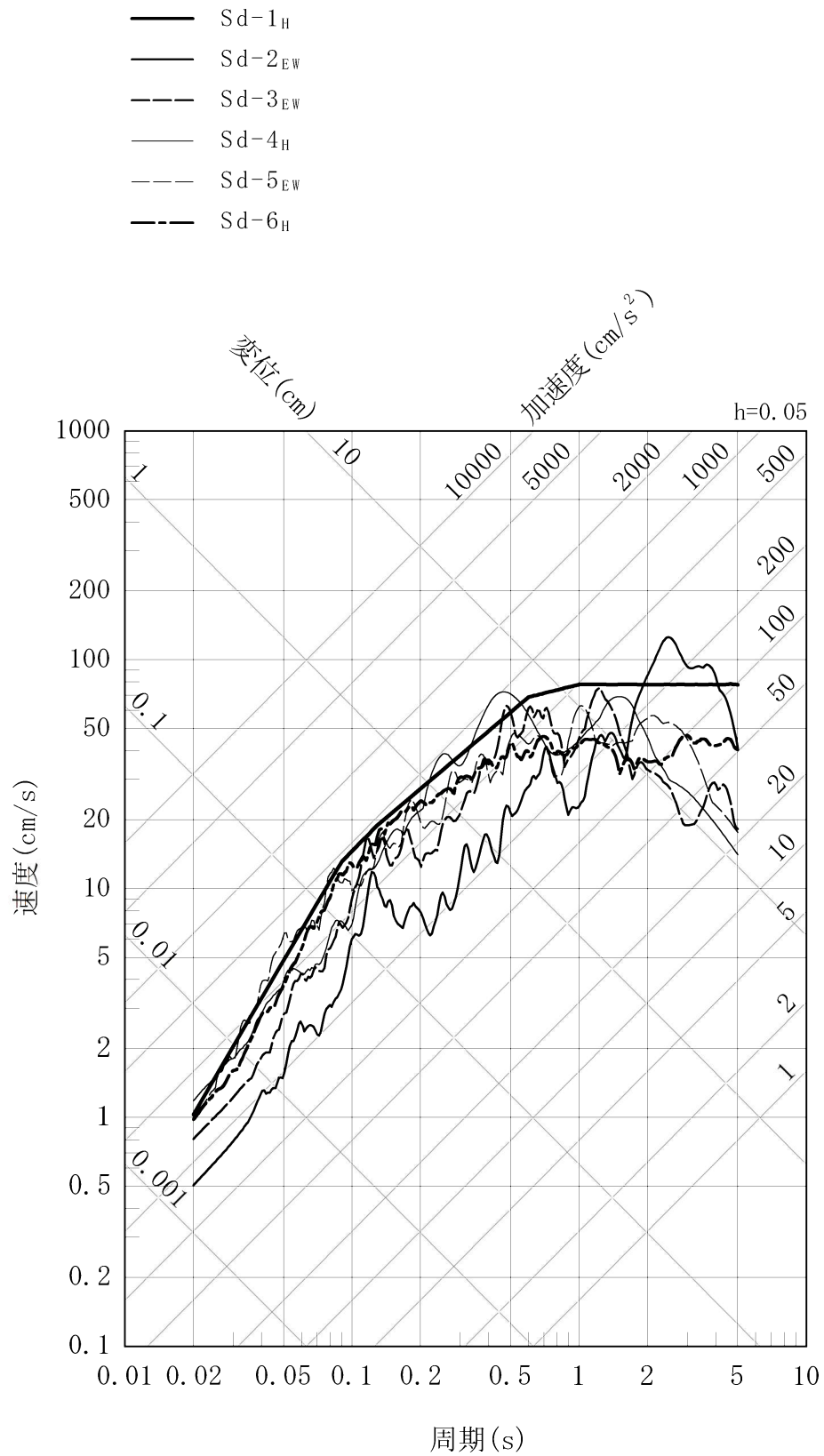
添付書類八の一部補正

添付書類八を以下のとおり補正する。

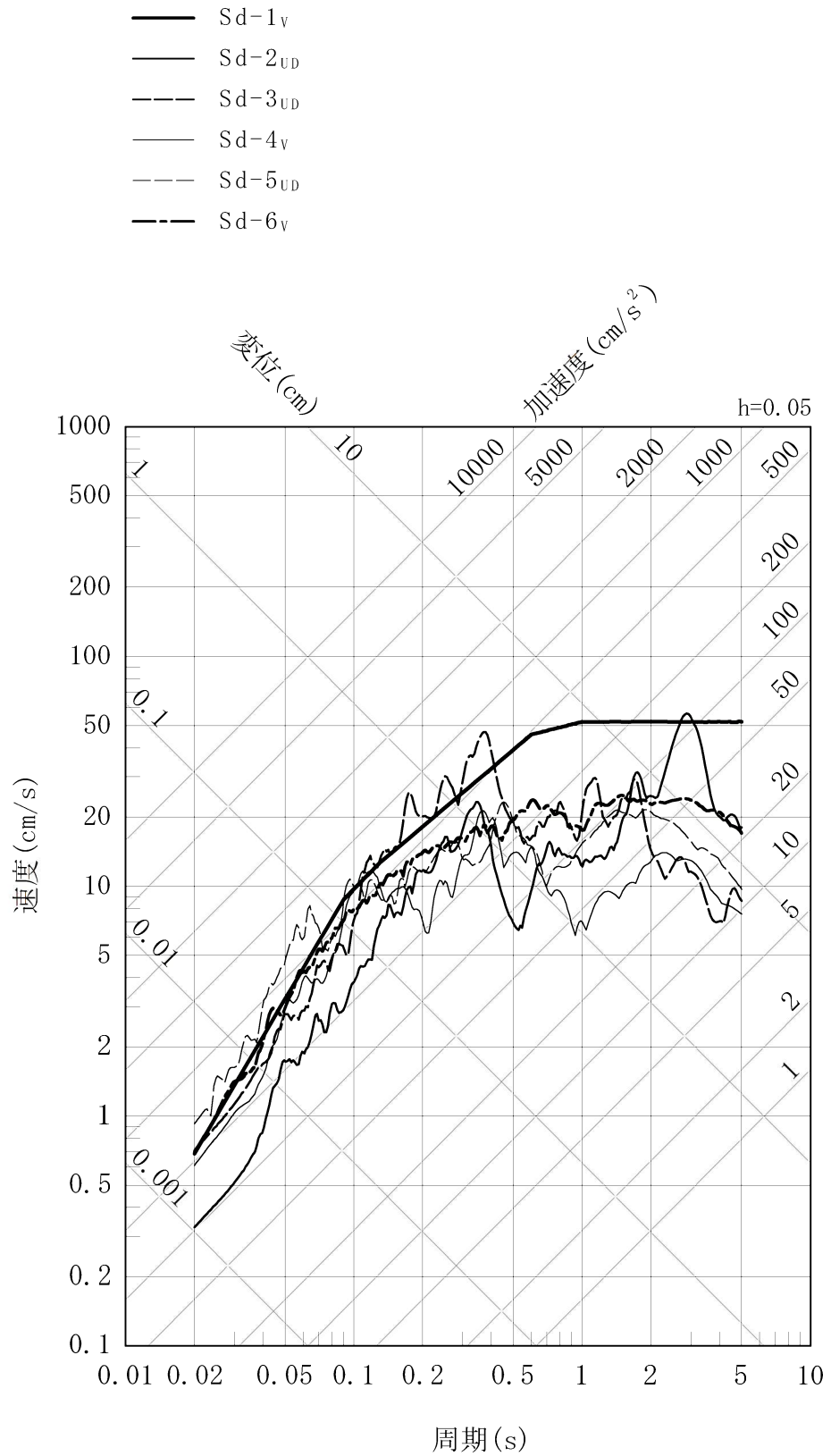
頁	行	補 正 前	補 正 後
8(3)－1－37 ～ 8(3)－1－39		(記載変更)	別紙 1 に変更する。
8(3)－1－45 ～ 8(3)－1－48		(記載変更)	別紙 2 に変更する。
8(4)－1－37 ～ 8(4)－1－39		(記載変更)	別紙 3 に変更する。
8(4)－1－45 ～ 8(4)－1－48		(記載変更)	別紙 4 に変更する。



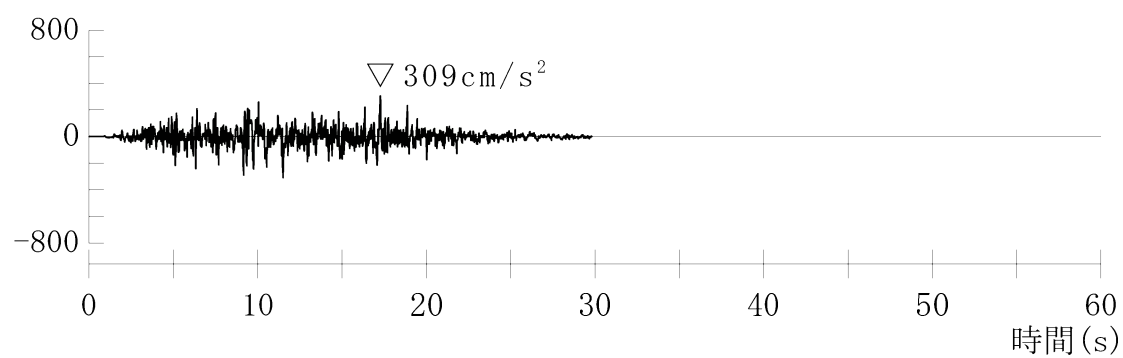
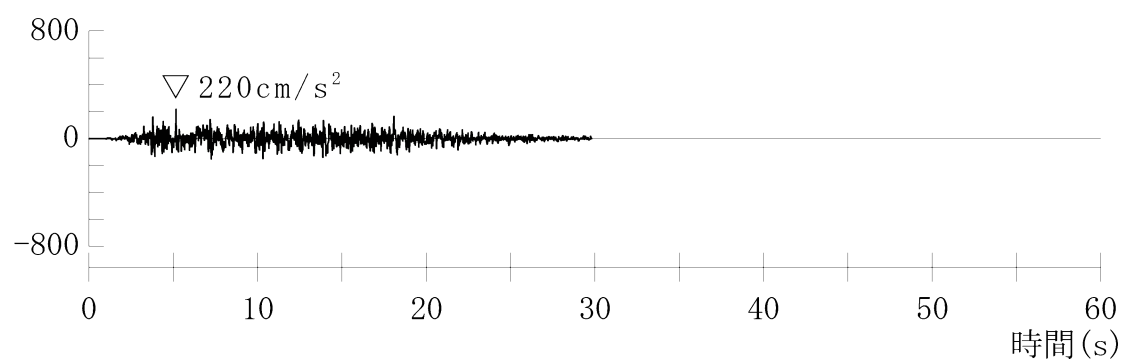
第 1.4.1 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル (水平方向: NS)



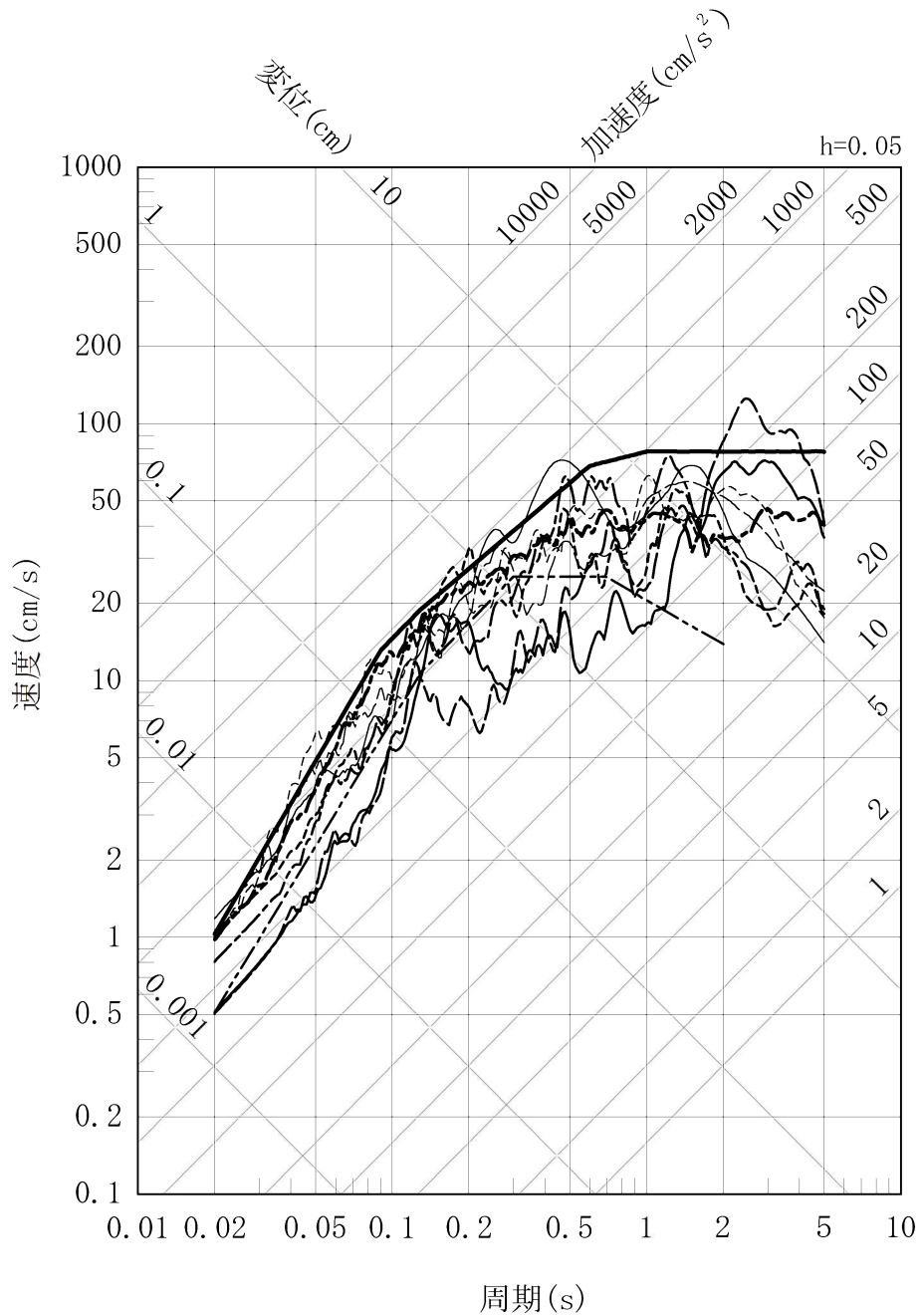
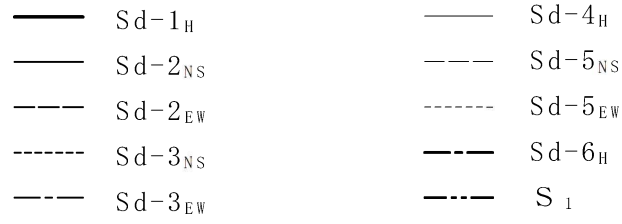
第 1.4.2 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル（水平方向：EW）



第 1.4.3 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル（鉛直方向）

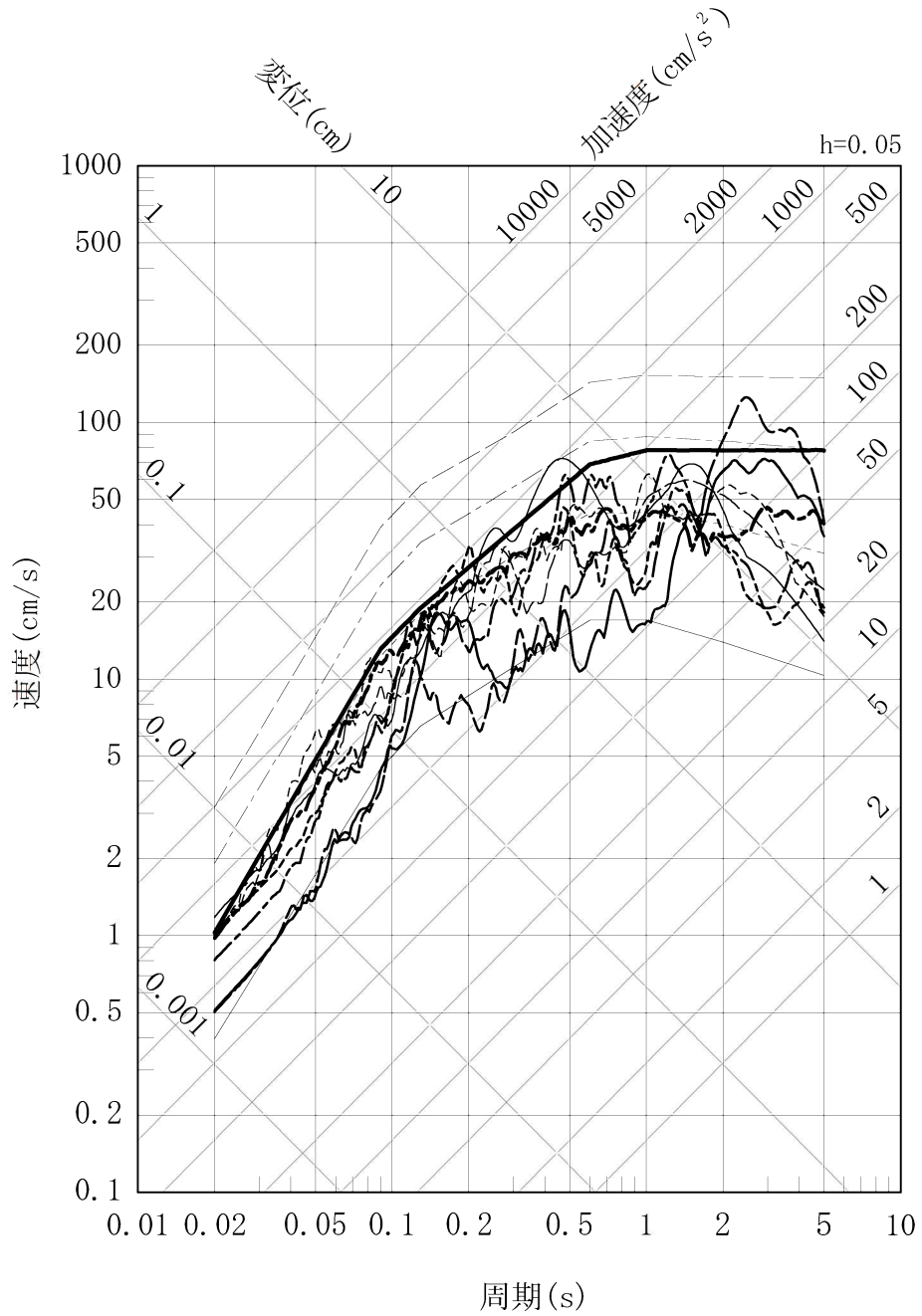
加速度 (cm/s^2)加速度 (水平方向 : Sd-6_H)加速度 (cm/s^2)加速度 (鉛直方向 : Sd-6_V)

第1.4.9図 弾性設計用地震動Sd-6の時刻歴波形

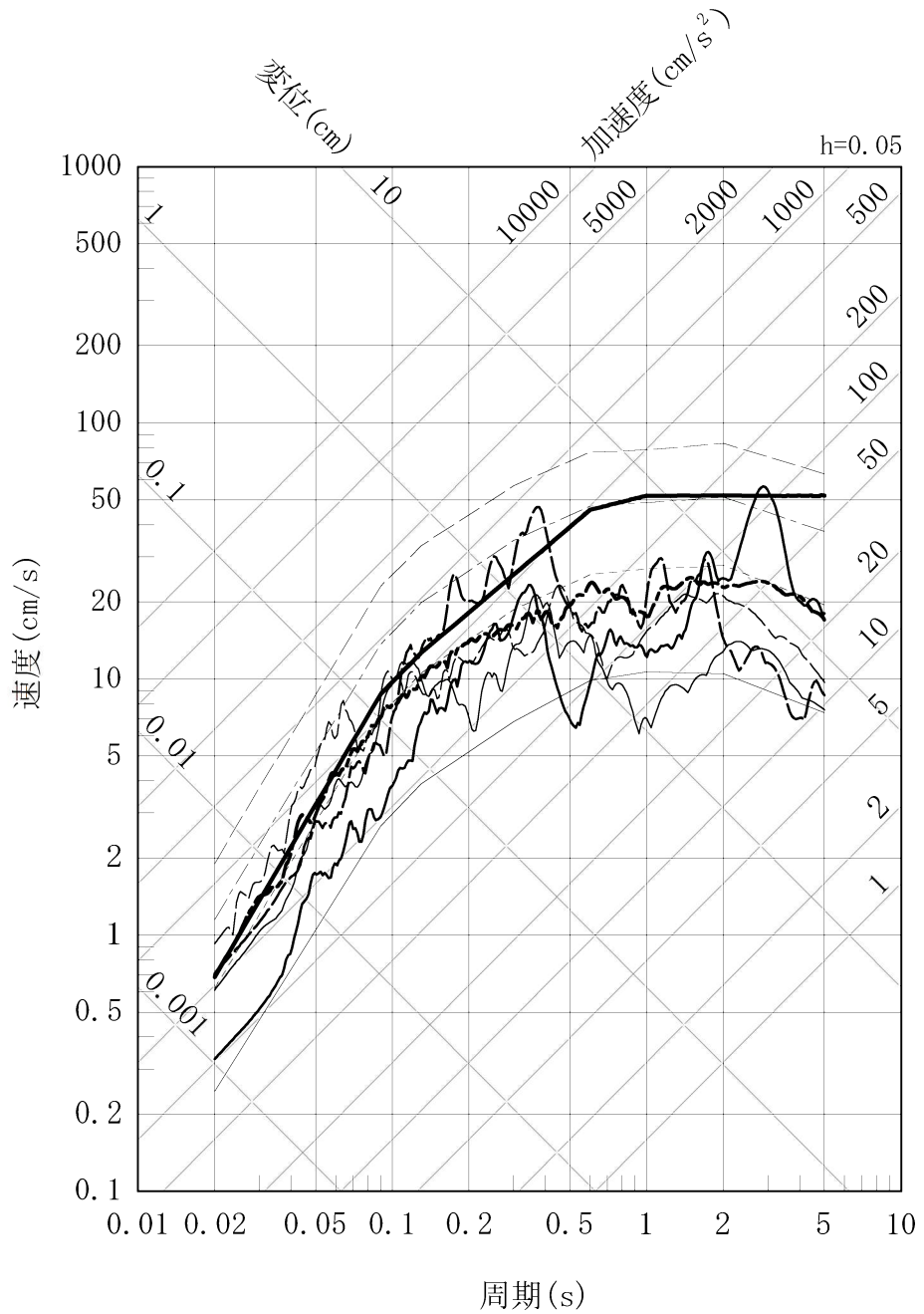
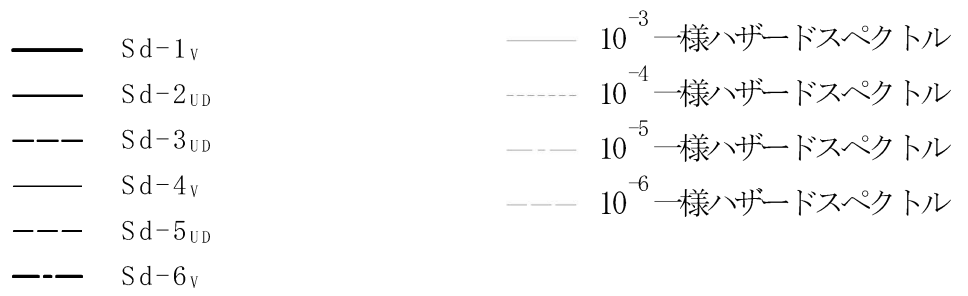


第 1.4.10 図 弾性設計用地震動と旧耐震指針における基準地震動 S₁ の比較 (水平方向)

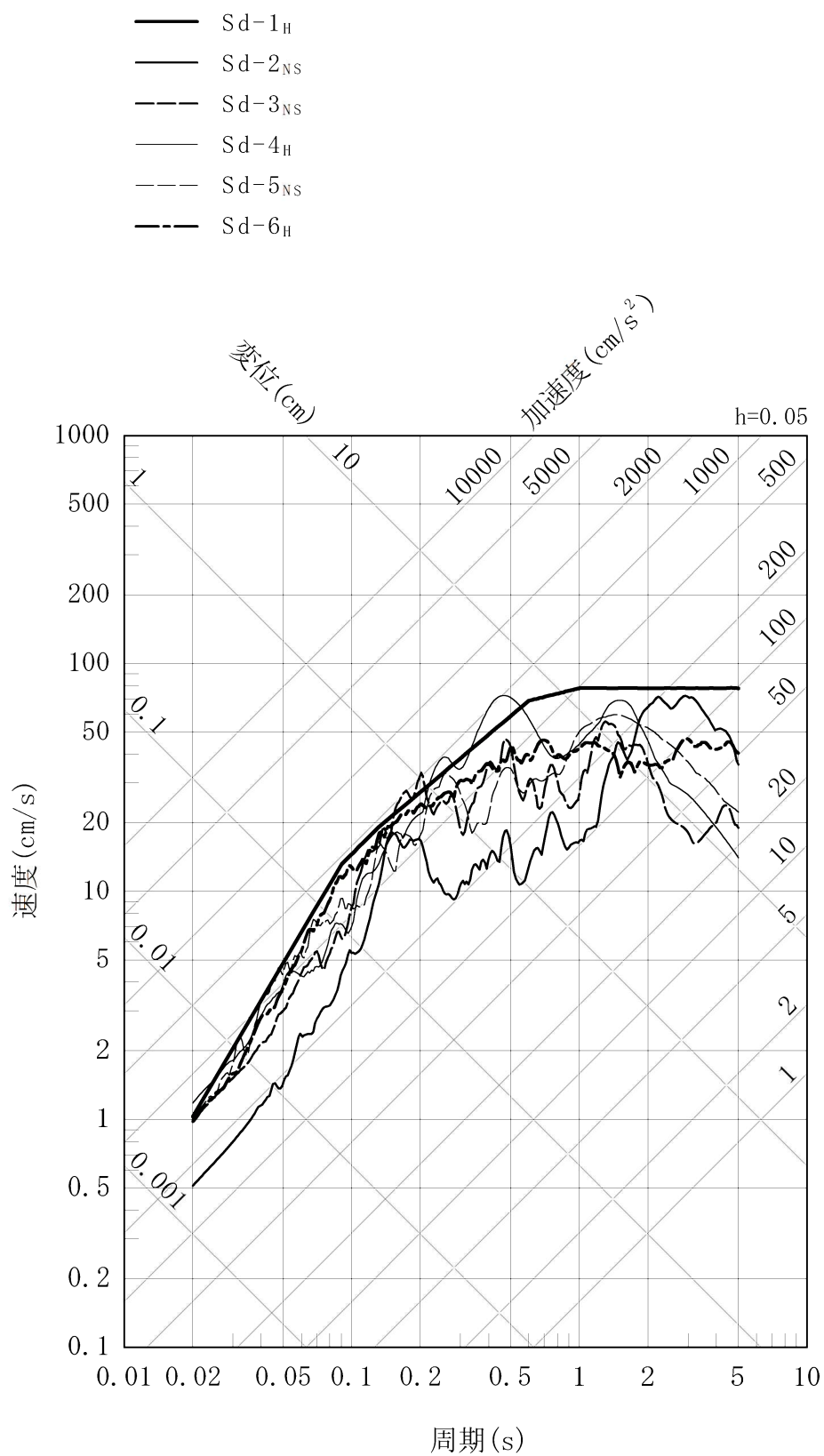
- Sd-1_H
- Sd-2_{NS}
- - - Sd-2_{EW}
- · · Sd-3_{NS}
- Sd-3_{EW}
- Sd-4_H
- - - Sd-5_{NS}
- · · Sd-5_{EW}
- - - Sd-6_H
- 10⁻³一様ハザードスペクトル
- - - 10⁻⁴一様ハザードスペクトル
- - - 10⁻⁵一様ハザードスペクトル
- - - 10⁻⁶一様ハザードスペクトル



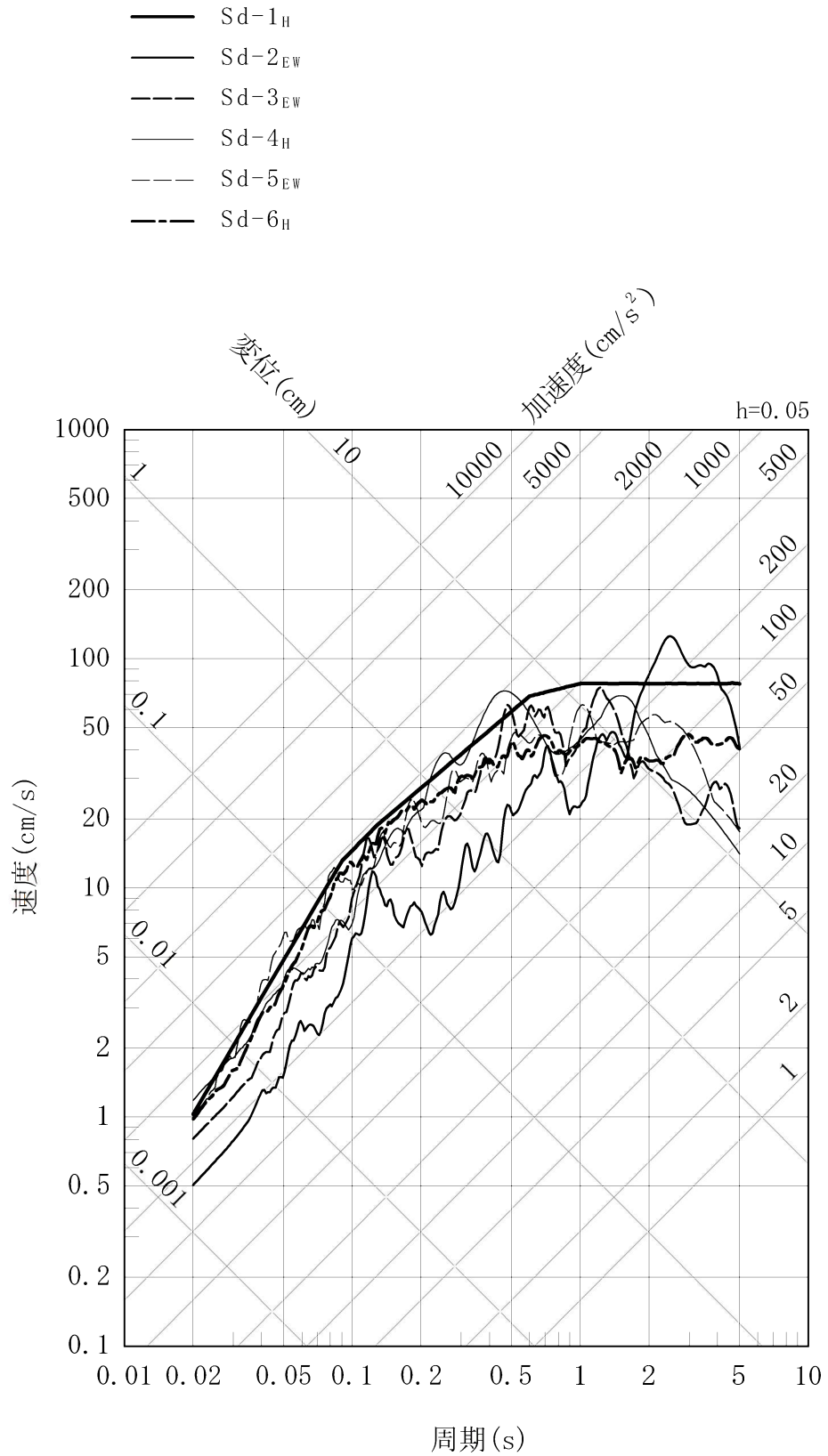
第 1.4.11 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル及び解放基盤表面における地震動の一様ハザードスペクトルの比較 (水平方向)



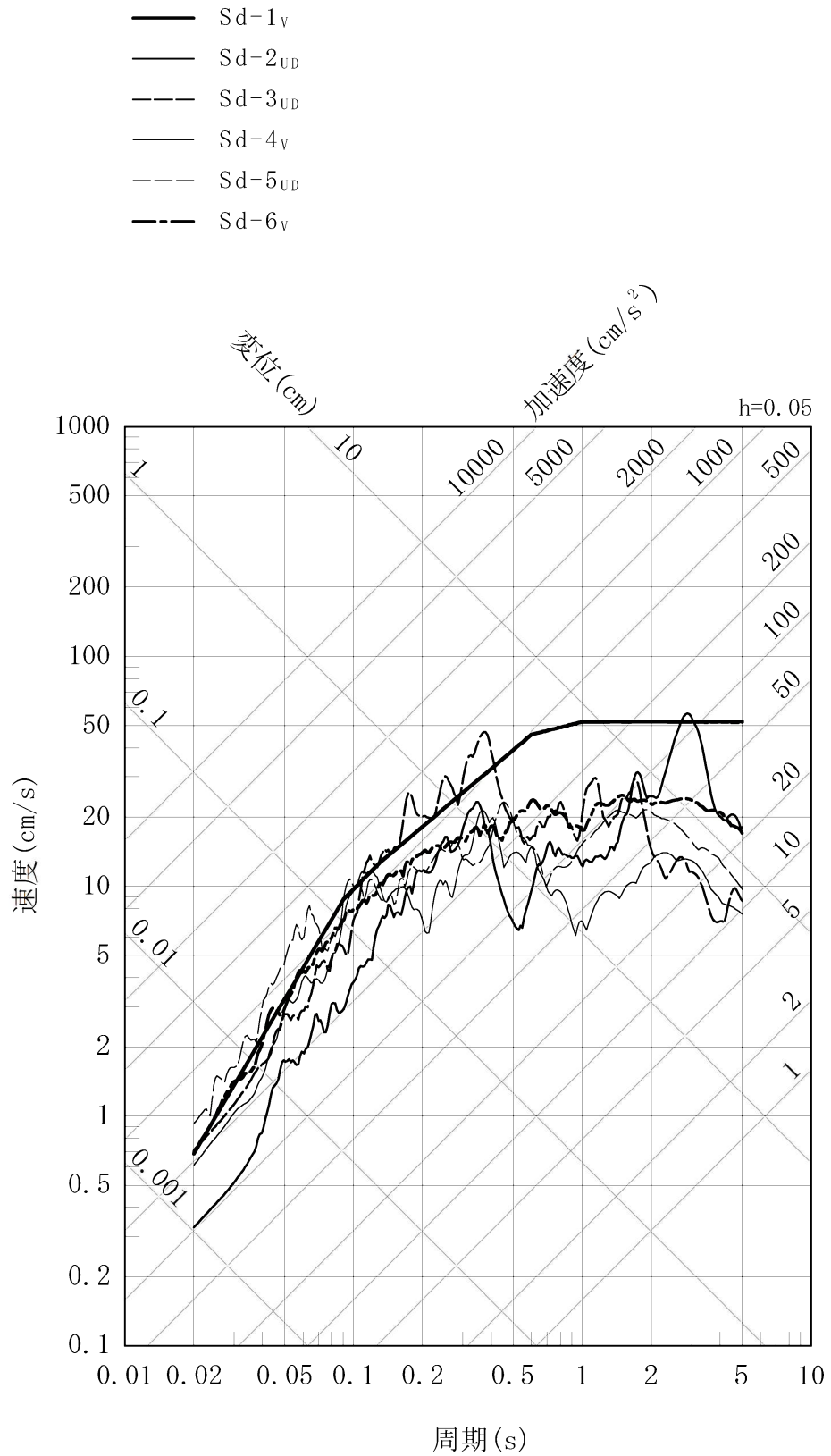
第 1.4.12 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル及び解放基盤表面における地震動の一様ハザードスペクトルの比較 (鉛直方向)



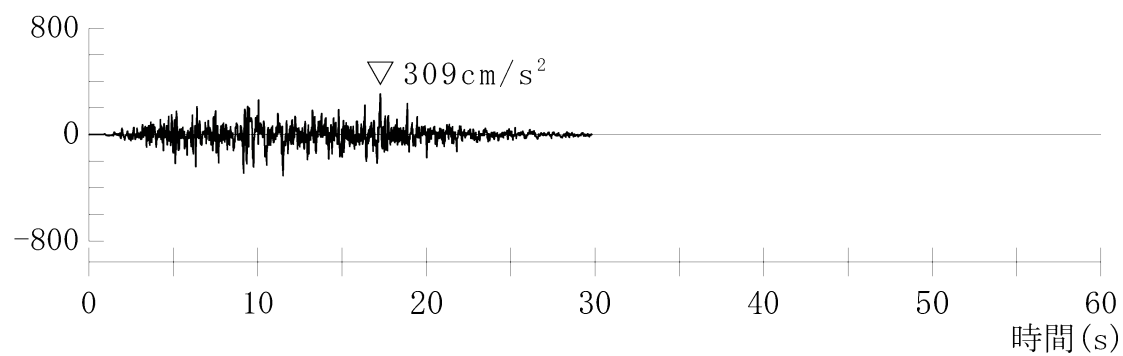
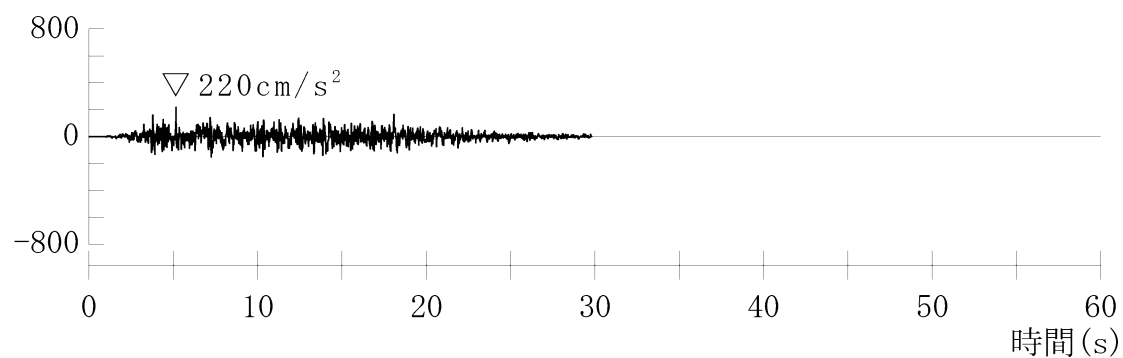
第 1.4.1 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル (水平方向: NS)



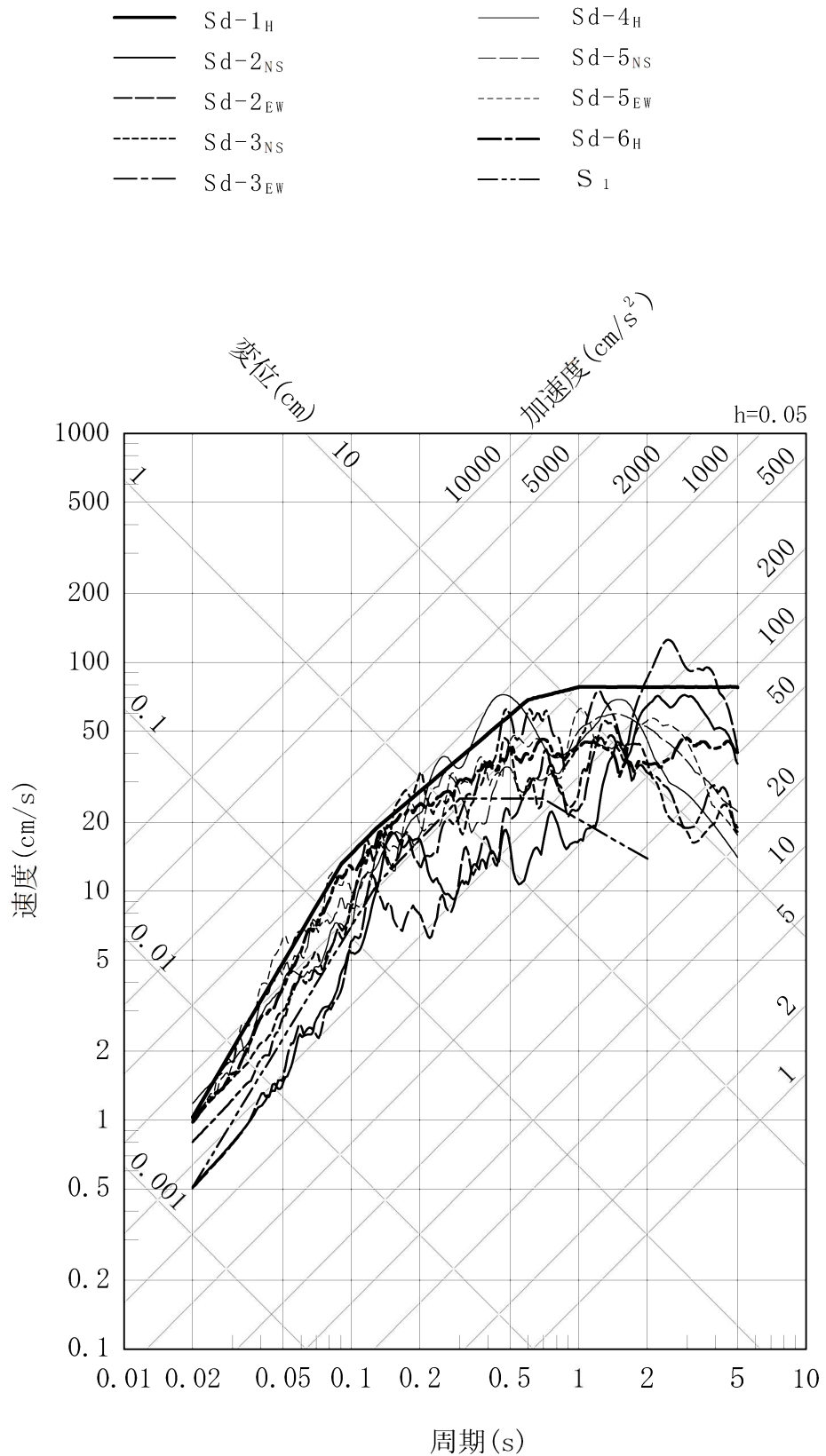
第 1.4.2 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル (水平方向: EW)



第 1.4.3 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル（鉛直方向）

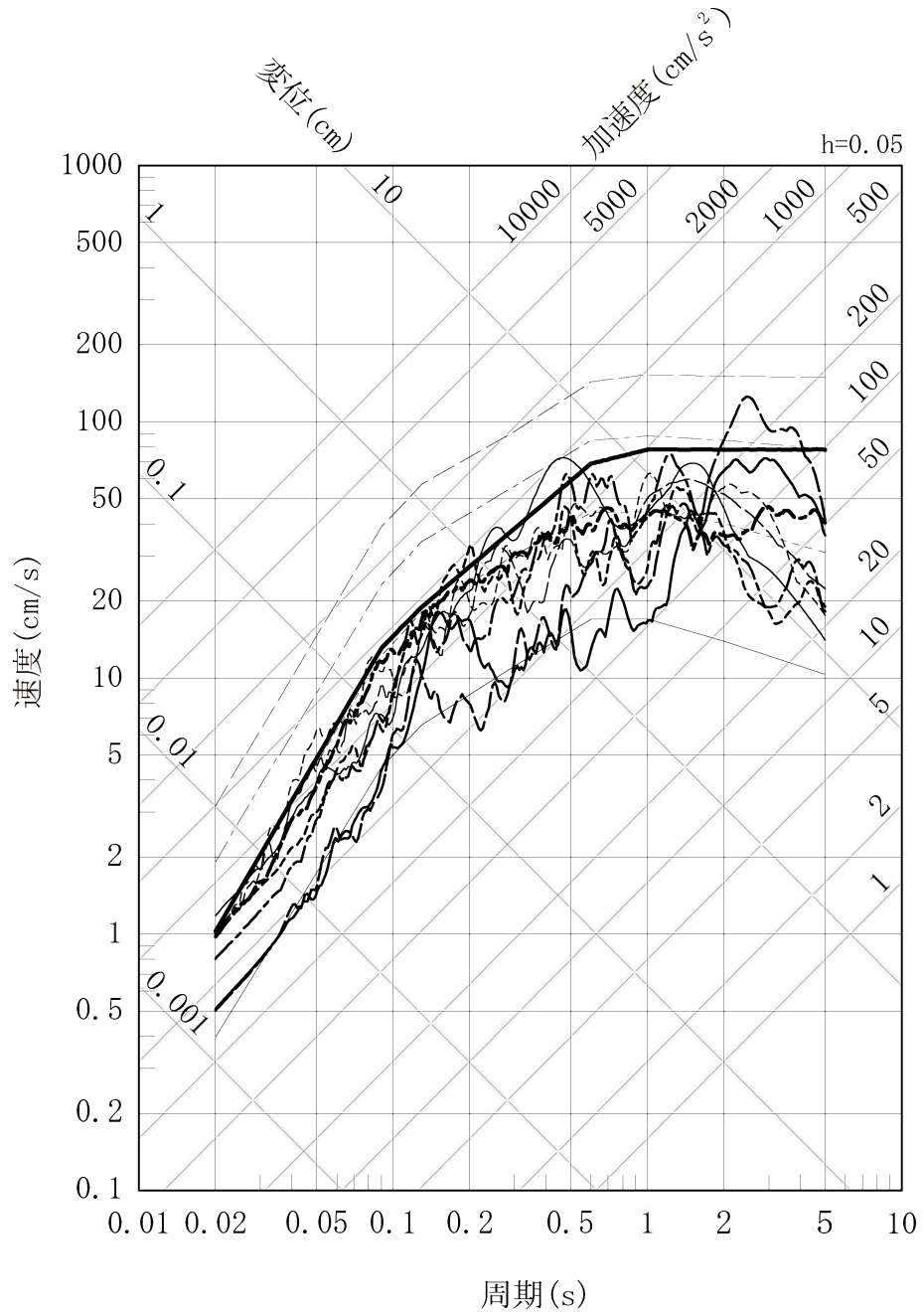
加速度 (cm/s^2)加速度 (水平方向 : Sd-6_H)加速度 (cm/s^2)加速度 (鉛直方向 : Sd-6_V)

第1.4.9図 弾性設計用地震動Sd-6の時刻歴波形

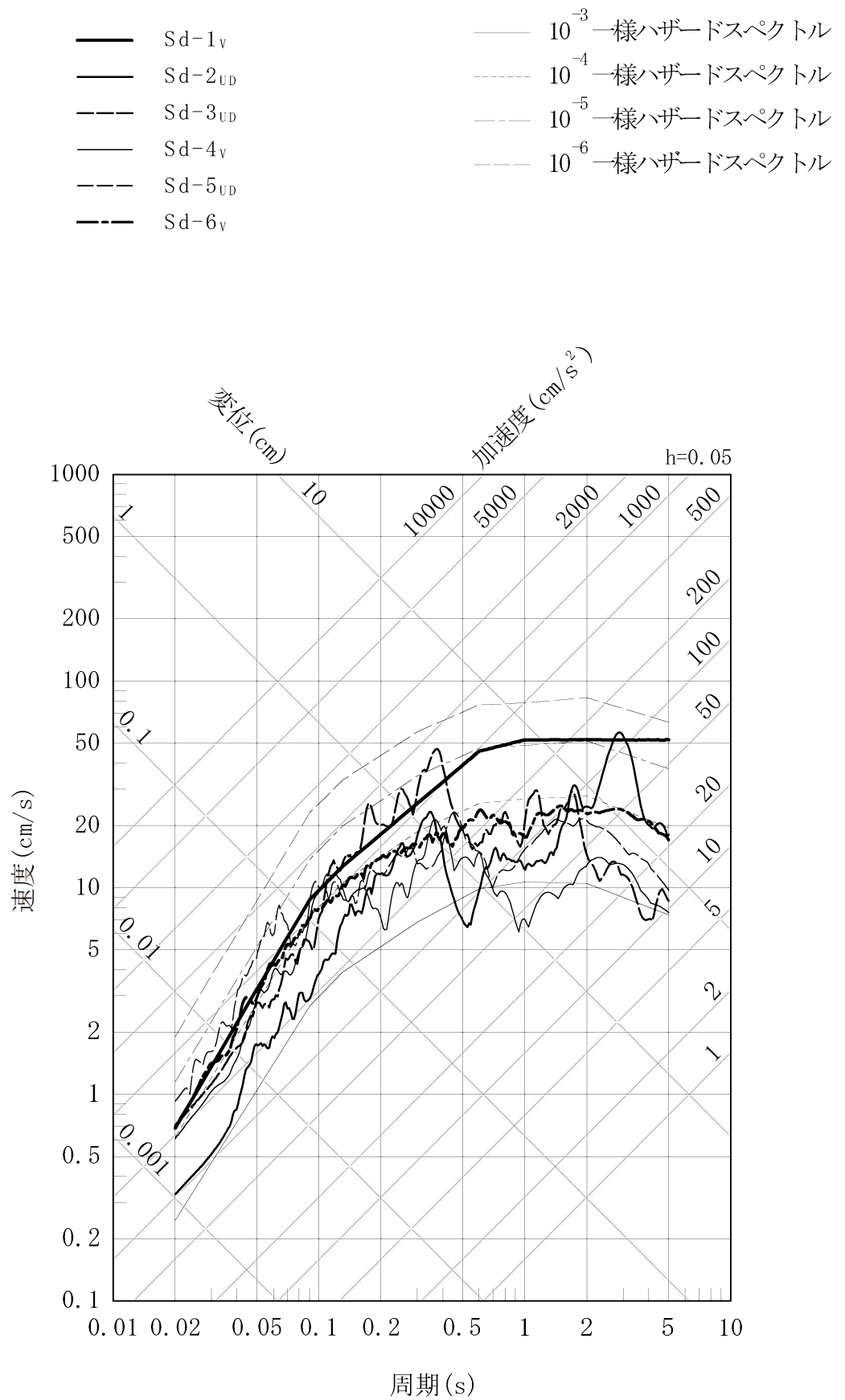


第 1.4.10 図 弾性設計用地震動と旧耐震指針における
基準地震動 S_1 の比較 (水平方向)

- Sd-1_H
- Sd-2_{NS}
- - - Sd-2_{EW}
- · - · - Sd-3_{NS}
- · - · - Sd-3_{EW}
- Sd-4_H
- - - Sd-5_{NS}
- · - · - Sd-5_{EW}
- · - · - Sd-6_H
- 10⁻³一様ハザードスペクトル
- - - 10⁻⁴一様ハザードスペクトル
- · - · - 10⁻⁵一様ハザードスペクトル
- · - · - 10⁻⁶一様ハザードスペクトル



第 1.4.11 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル及び解放基盤表面における地震動の一様ハザードスペクトルの比較 (水平方向)



第 1.4.12 図 弾性設計用地震動の応答スペクトル及び解放基盤表面における地震動の一様ハザードスペクトルの比較 (鉛直方向)